
受動喫煙に関する都民の意識調査

報 告 書

令和3年12月

<目次>

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 インターネット調査の実施期間	3
4 調査対象	3
5 調査内容	4
6 本報告書を読むに当たっての注意事項	4

II 回答者の属性

1 性	9
2 年代	9
3 居住地	9
4 婚姻状況	10
5 子どもの有無	10
6 職業	10

III 質問事項と集計結果

Q1 紙巻きたばこの喫煙状況【SA】	12
Q2 加熱式たばこの喫煙状況【SA】	14
【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況	16
Q3 禁煙意向【SA】	18
【参考】禁煙意向の有無（「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算）	22
Q3-1 禁煙の理由【MA】	24
Q3-2 禁煙の方法【MA】	26
Q4 受動喫煙が健康に影響することの認知度【SA】	28
Q5 受動喫煙の経験状況【SA】	30

Q6-1 受動喫煙の経験地域(都内or都外)【SA】	32
Q6-2 受動喫煙の経験場所【MA】	34
Q7 他人のたばこの煙の感じ方【SA】	36
Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスク【SA】	38
Q9 受動喫煙防止対策の認知度【SA】	40
Q10 第一種施設屋内禁煙の認知度【SA】	42
Q11 学校等敷地内禁煙の認知度【SA】	44
Q12 飲食店における原則屋内禁煙の認知度【SA】	46
Q13 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度【SA】	48
Q14 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度【SA】	50
Q15 飲食店頭の表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の認知度【SA】	52
Q16 飲食店頭表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の参考度合【SA】	54
Q17 法律・条令違反が指導・過料等の対象となることの認知度【SA】	56
Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度【MA】	58
Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価【SA】	61
Q20 都の受動喫煙防止条例に対する評価の理由【FA】	63
Q21 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望【FA】	67
<参考(調査票)>	71

I 調査の概要

1 調査の目的

受動喫煙防止対策を推進し、誰もが快適に過ごせる街を実現するため、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が、令和2年4月1日に全面施行された。そこで、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の施行後の都民の受動喫煙防止対策の認知度や実態を把握し、今後の取組に活かすため、調査を行った。

2 調査の方法

インターネット調査

3 インターネット調査の実施期間

令和3年11月1日～同年11月4日

4 調査対象

東京都内に住所を有する満20歳～79歳の男女計3,000名を、令和3年1月現在の住民基本台帳による東京都の「①性・年代別人口構成」「②地域別の人口構成」に沿って抽出した結果、回答者の構成は以下となった。

(1)性・年代別構成

	n	%	統計上割合
全体	3000	100.00	100.00
男性	1502	50.07	50.02
男性／20代	244	8.13	8.14
男性／30代	278	9.27	9.27
男性／40代	317	10.57	10.59
男性／50代	283	9.43	9.38
男性／60代	194	6.47	6.47
男性／70代	186	6.20	6.16
女性	1498	49.93	49.98
女性／20代	241	8.03	8.09
女性／30代	269	8.97	8.96
女性／40代	308	10.27	10.28
女性／50代	268	8.93	8.94
女性／60代	193	6.43	6.45
女性／70代	219	7.30	7.27

(2)地域別構成

地域	地域内区市町村	n	%	統計上割合
1 区中央部	千代田区、中央区、港区、文京区、台東	204	6.80	6.82
2 区南部	品川区、大田区	252	8.40	8.37
3 区西南部	目黒区、世田谷区、渋谷区	316	10.53	10.49
4 区西部	新宿区、中野区、杉並区	281	9.37	9.41
5 区西北部	豊島区、北区、板橋区、練馬区	424	14.13	14.22
6 区東北部	荒川区、足立区、葛飾区	295	9.83	9.84
7 区東部	墨田区、江東区、江戸川区	325	10.83	10.81
8 西多摩	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町	81	2.70	2.67
9 南多摩	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市	297	9.90	9.95
10 北多摩西部	立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市	142	4.73	4.65
11 北多摩南部	武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市	224	7.47	7.42
12 北多摩北部	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市	155	5.17	5.19
13 島しょ	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村	4	0.13	0.17
全体		3000	100.00	100.00

5 調査内容

下記に関する調査項目合計 31 問

- ア 回答者の基礎情報(性別、年齢、在住区市町村 等)
- イ 東京都受動喫煙防止条例に関する認知度
- ウ 受動喫煙に関する状況
- エ その他

6 本報告書を読むに当たっての注意事項

- (1)割合(%)は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単一回答の集計結果において表記した割合(%)の合計が 100%にならない場合がある。同様に、複数の割合の合計値が表記値の合計と異なる場合がある。
- (2)複数回答の集計結果では割合(%)の合計が 100%を超える場合がある。
- (3)回答者が 30 名未満の場合は、その属性を持つ回答者群の実態が集計結果に反映されていない可能性が高いことから、表・グラフ中では薄字表記とし、本文中では原則として言及していない。
- (4)同趣旨の回答選択肢を集約して表記する場合は『 』で示した。
- (5)回答選択肢の文章が長い場合は短縮して表記した。
- (6)割合の差はポイント(文中では「P」と略称)で示した。
- (7)掲載した帯グラフでは 2%未満の割合は表示していない。

(8)この報告書でを使用した符号は次のとおり。

n : 集計母数
SA : 単一回答
MA : 複数回答
FA : 記述回答

II 回答者の属性

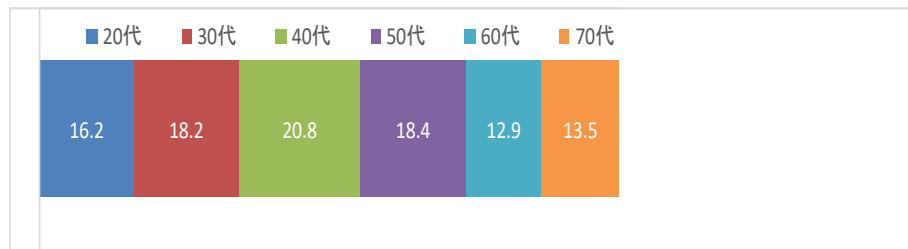
1 性

	n	%
全体	3000	100.0
男性	1502	50.1
女性	1498	49.9



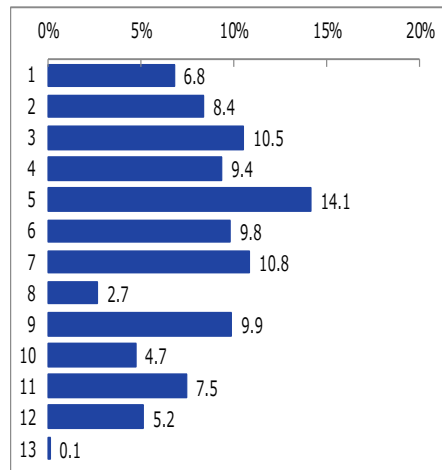
2 年代

	n	%
全体	3000	100.0
20代	485	16.2
30代	547	18.2
40代	625	20.8
50代	551	18.4
60代	387	12.9
70代	405	13.5



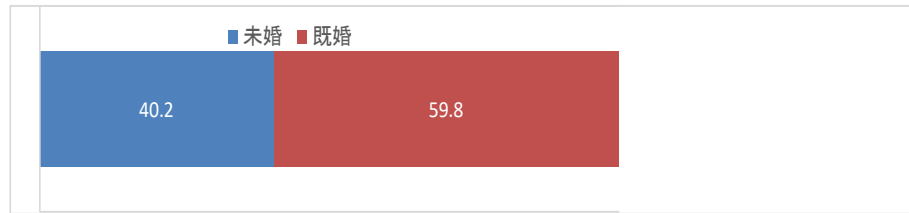
3 居住地

	n	%
全体	3000	100.0
1 区中央部 (千代田区、中央区、港区、文京区、台東区)	204	6.8
2 区南部 (品川区、大田区)	252	8.4
3 区西南部 (目黒区、世田谷区、渋谷区)	316	10.5
4 区西部 (新宿区、中野区、杉並区)	281	9.4
5 区西北部 (豊島区、北区、板橋区、練馬区)	424	14.1
6 区東北部 (荒川区、足立区、葛飾区)	295	9.8
7 区東部 (墨田区、江東区、江戸川区)	325	10.8
8 西多摩 (青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)	81	2.7
9 南多摩 (八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)	297	9.9
10 北多摩西部 (立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市)	142	4.7
11 北多摩南部 (武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市)	224	7.5
12 北多摩北部 (小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)	155	5.2
13 島しょ (大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村)	4	0.1



4 婚姻状況

	n	%
全体	3000	100.0
未婚	1207	40.2
既婚	1793	59.8



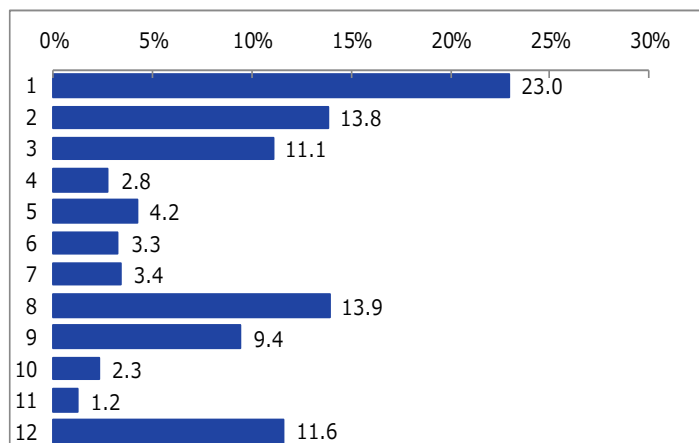
5 子どもの有無

	n	%
全体	3000	100.0
いる	1454	48.5
いない	1546	51.5



6 職業

	n	%
全体	3000	100.0
1 会社員 (事務系)	689	23.0
2 会社員 (技術系)	415	13.8
3 会社員 (その他)	332	11.1
4 経営者・役員	83	2.8
5 自営業	126	4.2
6 自由業	98	3.3
7 公務員	102	3.4
8 専業主婦 (主夫)	417	13.9
9 パート・アルバイト	283	9.4
10 学生	69	2.3
11 その他 :	37	1.2
12 無職	349	11.6



Ⅲ 質問事項と集計結果

Q1 紙巻きたばこの喫煙状況【SA】

(Q1 あなたは、「たばこ(加熱式たばこ※を除く。紙たばこ、葉巻、水たばこ等)」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例:アイコス、グロー、プルーム・テック等(電子タバコは含みません)

※本調査では、『喫煙(者)』は「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」の合計とした。

※本調査では、『非喫煙(者)』は「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」「吸わない」の合計とした。

【全体】

▶紙巻きたばこ(以下では、紙たばことする)の『喫煙』者は 17.5%(「毎日 14.5%」「ときどき 3.0%」の合計。以下、同じ。)であった。

【性別】

▶紙たばこの『喫煙』者割合は、男性(23.2%)が女性(11.7%)のほぼ2倍であった。

【男性年代別】

▶紙たばこの『喫煙』者は、50代(29.3%)でほぼ3割を占めて最も多く、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて漸減していくが、70代では急減して11.3%となり最も少なくなる。

【女性年代別】

▶紙たばこの『喫煙』者は、50代(16.8%)で最も多く、これより年代が上がる・下がるにつれて漸減していくが、70代では急減して5.5%となり最も少なくなる。

Q1 紙巻きタバコの喫煙状況【SA】 集計結果

		(n)	毎日吸っている	とどき吸う日がある	以前は吸っていたが、 1か月以上吸っていない	吸わない	(%)
全体		(3,000)	14.5	3.0	17.4	65.1	
性別	男性	(1,502)	19.7	3.5	22.2	54.5	
	女性	(1,498)	9.3	2.4	12.6	75.8	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	毎日吸っている	とどき吸う日がある	以前は吸っていたが、 1か月以上吸っていない	吸わない
全体		(3,000)	14.5	3.0	17.4	65.1
性別	男性	(1,502)	19.7	3.5	22.2	54.5
	女性	(1,498)	9.3	2.4	12.6	75.8
性年代	男性/20代	(244)	14.8	7.4	11.1	66.8
	男性/30代	(278)	16.9	5.0	20.1	57.9
	男性/40代	(317)	21.8	2.2	17.4	58.7
	男性/50代	(283)	26.1	3.2	25.4	45.2
	男性/60代	(194)	27.3	0.5	27.3	44.8
	男性/70代	(186)	9.1	2.2	38.2	50.5
	女性/20代	(241)	3.7	5.0	6.6	84.6
	女性/30代	(269)	7.4	1.9	10.0	80.7
	女性/40代	(308)	11.7	1.9	16.9	69.5
	女性/50代	(268)	14.6	2.2	13.4	69.8
	女性/60代	(193)	12.4	3.1	14.0	70.5
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	73.0	14.9	7.4	4.7
	非喫煙者(※)	(2,404)	0.0	0.0	19.9	80.1
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	69.7	17.6	8.0	4.7
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	81.2	8.2	5.9	4.7
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	0.0	0.0	21.6	78.4
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	0.0	0.0	17.6	82.4
受動喫煙の健康への影響認知	知っている	(2,794)	14.2	2.9	17.9	65.0
	知らなかった	(206)	18.4	3.9	10.7	67.0

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q2 加熱式たばこの喫煙状況【SA】

(Q2 あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例:アイコス、グロー、プルーム・テック等(電子タバコは含みません))

【全体】

▶加熱式たばこの『喫煙』者は 11.0%('毎日 8.0%'「ときどき 3.0%」の合計。以下、同じ。)であった。

【性別】

▶加熱式たばこの『喫煙』者割合は、男性(14.5%)が女性(7.4%)のほぼ 2 倍であった。

【男性年代別】

▶加熱式たばこの『喫煙』者は、20～50 代では 17%前後を占めるが、これより年代が上がると急減して、60 代では 9.8%、70 代では 2.7%になる。

【女性年代別】

▶加熱式たばこの『喫煙』者は、50 代(10.8%)で最も多く、これより年代が上がる・下がるにつれて減少していき、70 代(2.7%)が最も少ない。

Q2 加熱式たばこの喫煙状況【SA】 集計結果

		(n)	毎日吸っている	ときどき吸う日がある	以前は吸っていたが、 1か月以上吸っていない	吸わない	(%)
全体		(3,000)	8.0	3.0	6.6	82.4	
性別	男性	(1,502)	10.3	4.2	8.7	76.8	
	女性	(1,498)	5.7	4.5		88.1	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	毎日吸っている	ときどき吸う日がある	以前は吸っていたが、 1か月以上吸っていない	吸わない
全体		(3,000)	8.0	3.0	6.6	82.4
性別	男性	(1,502)	10.3	4.2	8.7	76.8
	女性	(1,498)	5.7	1.7	4.5	88.1
性年代	男性/20代	(244)	10.2	6.1	9.0	74.6
	男性/30代	(278)	10.1	6.1	11.5	72.3
	男性/40代	(317)	14.5	3.5	9.5	72.6
	男性/50代	(283)	14.5	3.9	7.1	74.6
	男性/60代	(194)	5.7	4.1	7.2	83.0
	男性/70代	(186)	2.2	0.5	7.0	90.3
	女性/20代	(241)	3.3	2.9	4.6	89.2
	女性/30代	(269)	6.3	2.6	4.1	87.0
	女性/40代	(308)	8.8	0.6	5.5	85.1
	女性/50代	(268)	9.0	1.9	5.6	83.6
	女性/60代	(193)	2.1	2.1	3.1	92.7
	女性/70代	(219)	2.3	0.5	3.2	94.1
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	40.3	14.9	7.9	36.9
	非喫煙者(※)	(2,404)	0.0	0.0	6.3	93.7
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	42.0	16.4	8.7	32.9
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	35.9	11.2	5.9	47.1
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	0.0	0.0	7.6	92.4
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	0.0	0.0	4.5	95.5

■	は全体 +10ポイント以上
■	は +5ポイント以上
■	は -10ポイント以下
■	は -5ポイント以下

【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況

■ Q1・Q2での回答（「紙たばこ」「加熱式たばこ」の喫煙状況）を「どちらも喫煙」「紙たばこのみ喫煙」「加熱式たばこのみ喫煙」「どちらも非喫煙」に4分類し、喫煙たばこ別の喫煙状況を見た。

※ここでの喫煙・非喫煙は「紙たばこ」「加熱式たばこ」いずれについても以下とした。（以下、同じ。）

・喫煙 : 「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」とした回答者

・非喫煙 : 「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」「吸わない」とした回答者

【全体】

- ▶ 喫煙者（紙たばこ・加熱式たばこのいずれかもしくは両方の喫煙者。以下、同じ）が 19.9%、「どちらも非喫煙」が 80.1%であった。
- ▶ 喫煙者の内訳は、「紙たばこのみ喫煙 8.9%」「どちらも喫煙 8.6%」がいずれも9%弱で、「加熱式たばこのみ喫煙 2.4%」はそれらに比べて少ない。

【性別】

- ▶ 喫煙者割合は、男性(26.1%)が女性(13.6%)のほぼ倍であった。
- ▶ 喫煙たばこ別の割合は、いずれについても男性が女性より多い。

【男性年代別】

- ▶ 喫煙者は 50代(33.9%)が最も多く、これより年代が上がる下がるにつれて減少して 70代(12.9%)が最も少ない。
- ▶ 喫煙者の内訳は、20～40代は「どちらも喫煙 いずれも14%前後」が最も多いが、50代以上になると「紙たばこのみ喫煙 10～20%」が最も多くなる。

【女性年代別】

- ▶ 喫煙者は 50代(20.1%)が最も多く、これより年代が上がる下がるにつれて減少して 70代(6.8%)が最も少ない。
- ▶ 喫煙者の内訳は、20～40代は「どちらも喫煙 いずれも5～7%」が最も多いが、50代以上になると「紙たばこのみ喫煙 4～12%」が最も多くなる。

【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況 集計結果

		(n)	どちらも喫煙	紙たばこのみ喫煙	加熱式たばこのみ喫煙	どちらも非喫煙	(%)
全体		(3,000)	8.6	8.9	2.4	80.1	
性別	男性	(1,502)	11.7	11.6	2.9	73.9	
	女性	(1,498)	5.5	6.2		86.4	

* 2.0%未満は値表示なし

		n	どちらも喫煙	紙たばこのみ喫煙	加熱式たばこのみ喫煙	どちらも非喫煙
全体		3000	8.6	8.9	2.4	80.1
性別	男性	1502	11.7	11.6	2.9	73.9
	女性	1498	5.5	6.2	1.9	86.4
性年代	男性/20代	244	14.8	7.4	1.6	76.2
	男性/30代	278	14.0	7.9	2.2	75.9
	男性/40代	317	13.9	10.1	4.1	71.9
	男性/50代	283	13.8	15.5	4.6	66.1
	男性/60代	194	7.7	20.1	2.1	70.1
	男性/70代	186	1.1	10.2	1.6	87.1
	女性/20代	241	4.6	4.1	1.7	89.6
	女性/30代	269	7.1	2.2	1.9	88.8
	女性/40代	308	7.1	6.5	2.3	84.1
	女性/50代	268	7.5	9.3	3.4	79.9
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	596	43.1	44.8	12.1	0.0
	非喫煙者(※)	2404	0.0	0.0	0.0	100.0
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	426	45.8	41.5	12.7	0.0
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	170	36.5	52.9	10.6	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	1379	0.0	0.0	0.0	100.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	1025	0.0	0.0	0.0	100.0

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q3 禁煙意向【SA】

(Q3 Q1・Q2 のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。)

(1)紙たばこ喫煙者

【全体】

➤紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は 67.0% (「禁煙する予定がある(時期も決まっている) 21.8%」「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない) 45.2%」の合計。以下、同じ。)であった。

【性別】

➤紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は、女性(69.1%)が男性(65.9%)よりやや多い。

【男性年代別】

➤紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は、20～40代では7割超(71～78%)だが、これより年代が上がると減少していき、50代では60.2%、60代では44.4%となる。

【女性年代別】

➤回答者30名未満の年代が多いため言及しない。

【受動喫煙経験の有無別】

➤『禁煙意向あり』割合は、「受動喫煙経験あり 68.5%」が「受動喫煙経験なし 63.2%」より5.3P多い。

Q3 禁煙意向【SA】 (1)紙たばこ喫煙者 集計結果

		(n)	禁煙する予定がある (時期も決まっている)	いつか禁煙するつもりがある (時期は決まっていない)	禁煙するつもりはない	(%)
全体		(524)	21.8	45.2	33.0	
性別	男性	(349)	21.2	44.7	34.1	
	女性	(175)	22.9	46.3	30.9	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	禁煙する 時期も決ま る	いつか禁煙 する つもり がある (時期は決 まってい ない)	禁煙する つもり はない
全体		(524)	21.8	45.2	33.0
性別	男性	(349)	21.2	44.7	34.1
	女性	(175)	22.9	46.3	30.9
性年代	男性/20代	(54)	31.5	46.3	22.2
	男性/30代	(61)	29.5	41.0	29.5
	男性/40代	(76)	22.4	52.6	25.0
	男性/50代	(83)	21.7	38.6	39.8
	男性/60代	(54)	1.9	42.6	55.6
	男性/70代	(21)	14.3	52.4	33.3
	女性/20代	(21)	33.3	52.4	14.3
	女性/30代	(25)	36.0	36.0	28.0
	女性/40代	(42)	21.4	47.6	31.0
	女性/50代	(45)	24.4	42.2	33.3
	女性/60代	(30)	13.3	56.7	30.0
	女性/70代	(12)	0.0	41.7	58.3
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(524)	21.8	45.2	33.0
	非喫煙者(※)	(0)	0.0	0.0	0.0
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(372)	24.5	44.1	31.5
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(152)	15.1	48.0	36.8
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(0)	0.0	0.0	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0	0.0

- は全体+10ポイント以上
- は+5ポイント以上
- は-10ポイント以下
- は-5ポイント以下

(2)加熱式たばこ喫煙者

【全体】

▶加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は 60.5%（「禁煙する予定がある（時期も決まっている）10.9%」「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）49.5%」の合計。以下、同じ。）であった。

【性別】

▶加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は、女性（68.5%）が男性（56.4%）より12.1P 多い。

【男性年代別】

▶加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は、30代（68.9%）が最も多く、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて減少していき、50代（46.2%）が最も少ない。

【女性年代別】

▶すべての年代で回答者30名未満のため言及しない。

【受動喫煙経験の有無別】

▶『禁煙意向あり』割合は、「受動喫煙経験あり 64.7%」が「受動喫煙経験なし 47.5%」より17.2P 多い。

Q3 禁煙意向【SA】 (2)加熱式たばこ喫煙者 集計結果

		(n)	禁煙する予定がある (時期も決まっている)	いつか禁煙するつもりがある (時期は決まっていない)	禁煙するつもりはない	(%)
全体		(329)	10.9	49.5	39.5	
性別	男性	(218)	10.6	45.9	43.6	
	女性	(111)	11.7	56.8	31.5	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	禁煙する 時期も 決定が あ	いつか 禁煙す る時期 は決	な い 禁 煙 す る つ も り は
全体		(329)	10.9	49.5	39.5
性別	男性	(218)	10.6	45.9	43.6
	女性	(111)	11.7	56.8	31.5
性年代	男性/20代	(40)	22.5	35.0	42.5
	男性/30代	(45)	13.3	55.6	31.1
	男性/40代	(57)	7.0	56.1	36.8
	男性/50代	(52)	5.8	40.4	53.8
	男性/60代	(19)	0.0	36.8	63.2
	男性/70代	(5)	20.0	20.0	60.0
	女性/20代	(15)	13.3	60.0	26.7
	女性/30代	(24)	4.2	70.8	25.0
	女性/40代	(29)	17.2	62.1	20.7
	女性/50代	(29)	10.3	55.2	34.5
	女性/60代	(8)	0.0	12.5	87.5
	女性/70代	(6)	33.3	33.3	33.3
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(329)	10.9	49.5	39.5
	非喫煙者(※)	(0)	0.0	0.0	0.0
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(249)	11.6	53.0	35.3
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(80)	8.8	38.8	52.5
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(0)	0.0	0.0	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0	0.0

- は全体+10ポイント以上
- は+5ポイント以上
- は-10ポイント以下
- は-5ポイント以下

【参考】禁煙意向の有無(「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算)

■紙たばこ・加熱式たばこそれぞれの喫煙者のQ3(1)(2)における回答を以下に2分類して合算集計した。

- ・「禁煙する予定がある」「いつか禁煙するつもりがある」 →禁煙意向あり
- ・「禁煙するつもりはない」 →禁煙意向なし

【全体】

➤喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は 65.8%であった。

【性別】

➤『禁煙意向あり』は女性(69.6%)が男性(63.8%)より 5.8P 多い。

【男性年代別】

➤『禁煙意向あり』は 20 代(77.6%)が最も多く、40 代(73.0%)も 70%を超えているが、概ね年代が上がるにつれて少なくなり、60 代(43.1%)が最も少ない。

【女性年代別】

➤『禁煙意向あり』は 30 代(73.3%)が最も多いが、40～60 代では 68%前後に減少する。

【受動喫煙経験の有無別】

➤『禁煙意向あり』は「受動喫煙経験あり 67.8%」が「受動喫煙経験なし 60.6%」より 7.2P 多い。

【参考】禁煙意向の有無（「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算） 集計結果

		(n)	禁煙意向あり	禁煙意向なし	(%)
全体		(596)	65.8	34.2	
性別	男性	(392)	63.8	36.2	
	女性	(204)	69.6	30.4	

* 2.0%未満は値表示なし

		n	禁煙意向あり	禁煙意向なし
全体		596	65.8	34.2
性別	男性	392	63.8	36.2
	女性	204	69.6	30.4
性年代	男性/20代	58	77.6	22.4
	男性/30代	67	68.7	31.3
	男性/40代	89	73.0	27.0
	男性/50代	96	57.3	42.7
	男性/60代	58	43.1	56.9
	男性/70代	24	58.3	41.7
	女性/20代	25	84.0	16.0
	女性/30代	30	73.3	26.7
	女性/40代	49	69.4	30.6
	女性/50代	54	66.7	33.3
	女性/60代	31	67.7	32.3
	女性/70代	15	53.3	46.7
喫煙・非喫煙	喫煙者（※）	596	65.8	34.2
	非喫煙者（※）	0	0.0	0.0
受動喫煙有無	喫煙者（※）× 受動喫煙あり	426	67.8	32.2
	喫煙者（※）× 受動喫煙なし	170	60.6	39.4
	非喫煙者（※）× 受動喫煙あり	0	0.0	0.0
	非喫煙者（※）× 受動喫煙なし	0	0.0	0.0

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q3-1 禁煙の理由【MA】

(Q3-1 Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」と回答した方にお尋ねします。禁煙しようと思う理由は何ですか。)

【全体】

▶喫煙者が禁煙意向を持つ理由としては、「1位 自分の健康のため 66.6%」が最も多く、次いで「2位 たばこ代が高いため 60.4%」も6割を超えて、2大理由となっている。

▶これら以外の理由はいずれも30%未満に減少するが、「3位 家族・パートナーの健康のため 28.0%」「4位 喫煙できる場所が減ったため 23.0%」が20%超、「5位 においが気になるため 17.3%」「6位 屋内が原則禁煙となったため 14.1%」「7位 家族・パートナーにやめるように言われた 11.4%」が10%超であった。

【性別】

▶男女いずれも「1位 自分の健康のため それぞれ 65.6%、68.2%」「2位 たばこ代が高いため それぞれ 59.4%、62.2%」まで同じであった。

▶これらに次いで多い理由は男女で異なり、男性は「3位 家族・パートナーの健康のため 32.4%」、女性は「3位 喫煙できる場所が減ったため 26.4%」であった。

▶以下の理由では男女差が大きい。

(男性>女性)

・家族・パートナーの健康のため :12.1P 差(男性 32.4%>女性 20.3%)

・家族・パートナーにやめるように言われた :10.5P 差(男性 15.2%>女性 4.7%)

(女性>男性)

・においが気になるため : 6.8P 差(女性 21.6%>男性 14.8%)

【男性年代別】

▶20代は「1位 たばこ代が高いため 50.0%」「2位 自分の健康のため 45.7%」だが、30代・40代ではこれが逆転して「1位 自分の健康のため 64~77%」「2位 たばこ代が高いため 57~66%」になり、50代では両者が同率(64.9%)となる。

【女性年代別】

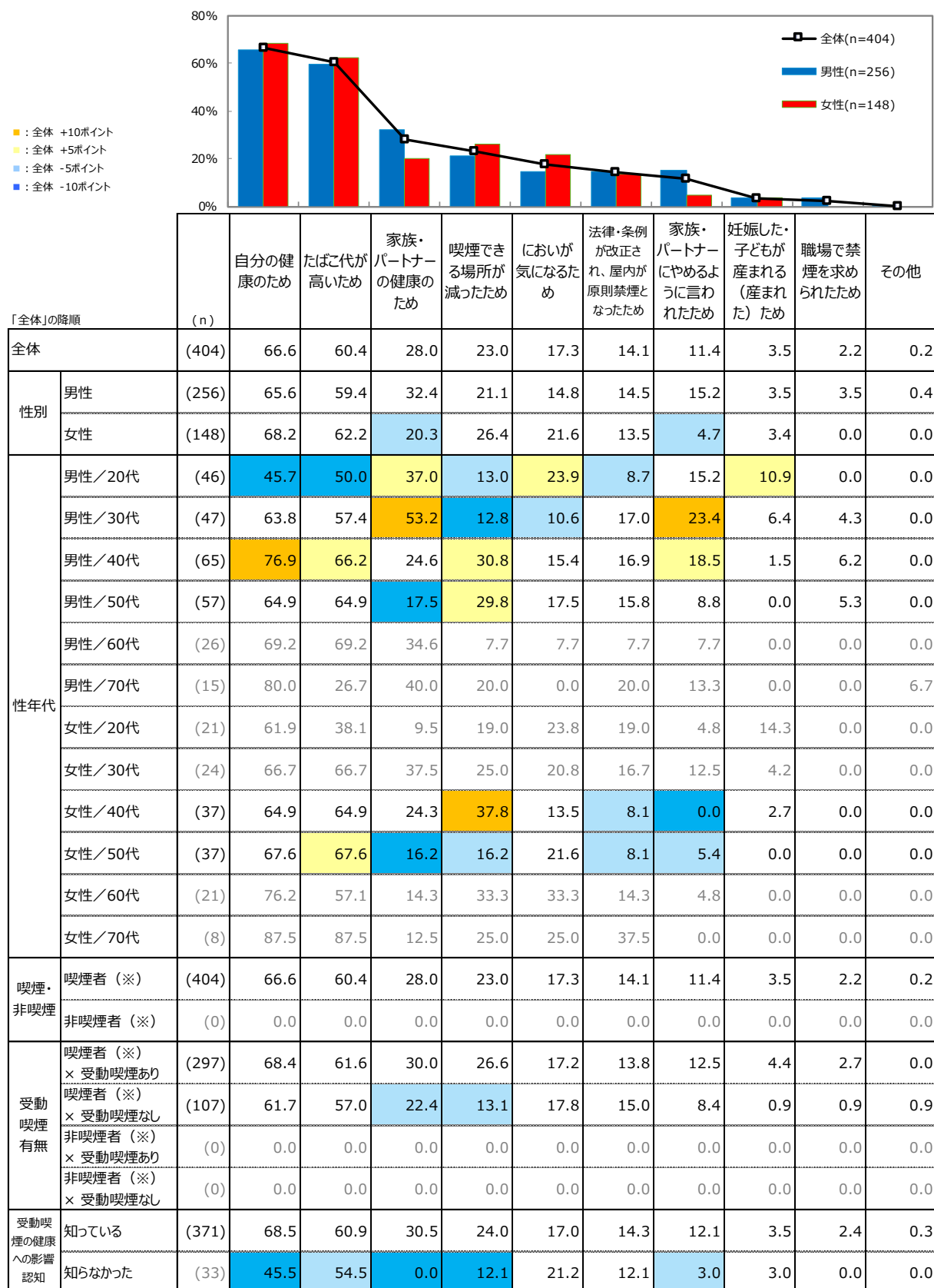
▶回答者30名未満の年代が多いため言及しない。

【受動喫煙経験の有無別】

▶「受動喫煙経験あり」「受動喫煙経験なし」いずれも、禁煙意向を持つ理由は「1位 自分の健康のため それぞれ 68.4%、61.7%」「2位 たばこ代が高いため それぞれ 61.6%、57.0%」「3位

家族・パートナーの健康のため それぞれ 30.0%、22.4%」まで同じだが、それらの理由の選択率はいずれも「受動喫煙経験あり」の方が高い。

Q3-1 禁煙の理由【MA】 集計結果



* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

Q3-2 禁煙の方法【MA】

(Q3-2 Q3で「禁煙する予定がある(時期も決まっている)」または「いつか禁煙するつもりがある(時期は決まっていない)」と回答した方にお尋ねします。禁煙しようとする場合には、どのような方法で行いますか。あてはまるものを全てお選びください。)

【全体】

- ▶禁煙意向を持つ回答者の禁煙方法としては、「1位 自分の意志のみで行う 74.3%」が突出して多い。
- ▶これ以外の理由は大きく減少していずれも13%未満となるが、「2位 薬局で買える禁煙補助剤 12.4%」「3位 飲食物で紛らわせる 11.1%」「4位 禁煙外来 8.2%」「5位 禁煙グッズ 7.9%」「6位 禁煙アプリ 1.7%」と続く。

【性別】

- ▶男女いずれも「1位 自分の意志のみで行う」が突出して多いが、その割合は女性(78.4%)が男性(71.9%)より多い。
- ▶これに次いで多い理由は、男性は「薬局で買える禁煙補助剤 15.6%」だが、女性は「飲食物で紛らわせる 8.8%」であった。

【男性年代別】

- ▶20～50代はいずれも「1位 自分の意志のみで行う」が最も多いが、その割合は30代(59.6%)が最も少なく、これより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、50代(78.9%)が最も多くなる。
- ▶これに次いで多い方法は20～50代のいずれも「2位 薬局で買える禁煙補助剤」だが、その割合は20～40代(17～26%)が50代(7.0%)に比べてかなり多い。(※20代は「飲食物で紛らわせる 17.4%」も同率2位)

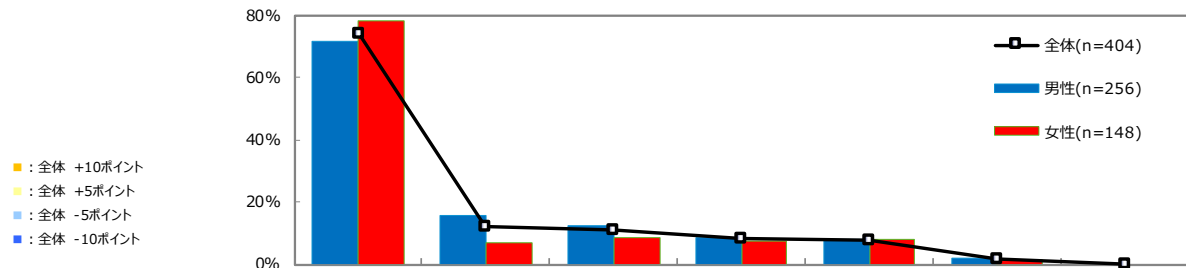
【女性年代別】

- ▶回答者30名未満の年代が多いため言及しない。

【受動喫煙経験の有無別】

- ▶「受動喫煙経験あり」「受動喫煙経験なし」いずれも、「1位 自分の意志のみで行う それぞれ 71.0%、83.2%」「2位 薬局で買える禁煙補助剤 それぞれ 14.1%、7.5%」まで同じであった。「受動喫煙経験あり」は「飲食物で紛らわせる 14.1%」も同率2位)

Q3-2 禁煙の方法【MA】 集計結果



「全体」の降順		(n)	自分の意志のみで行う	薬局で買える禁煙補助剤 (ニコチンガム・パッチ等)	飲食物で紛らせる (飴、ガム、缶コーヒー等)	禁煙外来の受診	禁煙グッズ (離煙パイプ、電子タバコ等)	禁煙アプリ	その他
全体		(404)	74.3	12.4	11.1	8.2	7.9	1.7	0.0
性別	男性	(256)	71.9	15.6	12.5	8.6	7.8	2.0	0.0
	女性	(148)	78.4	6.8	8.8	7.4	8.1	1.4	0.0
性年代	男性20代	(46)	69.6	17.4	17.4	4.3	8.7	2.2	0.0
	男性30代	(47)	59.6	25.5	21.3	14.9	17.0	6.4	0.0
	男性40代	(65)	70.8	20.0	13.8	9.2	4.6	0.0	0.0
	男性50代	(57)	78.9	7.0	5.3	7.0	5.3	1.8	0.0
	男性60代	(26)	76.9	3.8	7.7	11.5	3.8	0.0	0.0
	男性70代	(15)	86.7	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	女性20代	(21)	71.4	14.3	9.5	4.8	19.0	4.8	0.0
	女性30代	(24)	79.2	12.5	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0
	女性40代	(37)	75.7	8.1	8.1	10.8	8.1	0.0	0.0
	女性50代	(37)	86.5	0.0	5.4	8.1	2.7	0.0	0.0
	女性60代	(21)	85.7	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0	0.0
	女性70代	(8)	50.0	0.0	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0
喫煙・非喫煙	喫煙者 (※)	(404)	74.3	12.4	11.1	8.2	7.9	1.7	0.0
	非喫煙者 (※)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受動喫煙有無	喫煙者 (※) × 受動喫煙あり	(297)	71.0	14.1	14.1	8.8	9.1	2.4	0.0
	喫煙者 (※) × 受動喫煙なし	(107)	83.2	7.5	2.8	6.5	4.7	0.0	0.0
	非喫煙者 (※) × 受動喫煙あり	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非喫煙者 (※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受動喫煙の健康への影響認知	知っている	(371)	73.9	13.5	11.6	7.8	7.8	1.9	0.0
	知らなかった	(33)	78.8	0.0	6.1	12.1	9.1	0.0	0.0

* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

Q4 受動喫煙が健康に影響することの認知度【SA】

(Q4 あなたは、受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。※「受動喫煙」とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といえます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。)

【全体】

➤ 受動喫煙が健康に影響することを「知っている」は 93.1%を占めた。

【性別】

➤ 「知っている」は男女いずれも 93%前後でほぼ同じであった。

【男性年代別】

➤ 「知っている」はすべての年代で 90%を超えているが、70代(96.2%)が最も多く、50代(90.1%)が最も少ない。

【女性年代別】

➤ 「知っている」はすべての年代で 90%を超えているが、30代(95.2%)が最も多く、60代(92.2%)が最も少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤ 「知っている」は喫煙者・非喫煙者いずれも 93%前後であった。

【受動喫煙経験の有無別】

➤ 「知っている」は、「受動喫煙経験あり」が喫煙者・非喫煙に関わらず 97%前後だが、「受動喫煙経験なし」では減少して「喫煙者 80.6%」「非喫煙者 87.0%」となる。

Q4 受動喫煙が健康に影響することの認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らなかった	(%)
全体		(3,000)	93.1	6.9	
性別	男性	(1,502)	92.7	7.3	
	女性	(1,498)	93.6	6.4	

*2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な か っ た
全体		(3,000)	93.1	6.9
性別	男性	(1,502)	92.7	7.3
	女性	(1,498)	93.6	6.4
性年代	男性/20代	(244)	91.0	9.0
	男性/30代	(278)	93.5	6.5
	男性/40代	(317)	93.4	6.6
	男性/50代	(283)	90.1	9.9
	男性/60代	(194)	92.8	7.2
	男性/70代	(186)	96.2	3.8
	女性/20代	(241)	94.2	5.8
	女性/30代	(269)	95.2	4.8
	女性/40代	(308)	93.8	6.2
	女性/50代	(268)	92.5	7.5
	女性/60代	(193)	92.2	7.8
	女性/70代	(219)	93.2	6.8
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	92.1	7.9
	非喫煙者(※)	(2,404)	93.4	6.6
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	96.7	3.3
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	80.6	19.4
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	98.1	1.9
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	87.0	13.0

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q5 受動喫煙の経験状況【SA】

(Q5 あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙を経験しましたか。)

【全体】

▶ 過去1年間で受動喫煙を「経験した」は60.2%を占めた。

【性別】

▶ 「経験した」は男性(61.4%)が女性(58.9%)より若干多い。

【男性年代別】

▶ 「経験した」は20代(68.4%)・30代(72.7%)では70%前後を占めるが、概ね年代が上がるにつれて減少し、40代・50代では61%強に、そして60代・70代では半数を下回って48%前後になる。

【女性年代別】

▶ 「経験した」は20代(74.3%)が最も多いが、概ね年代が上がるにつれて減少し、30代・40代では68%前後に、50代では56.3%に、そして60代(46.6%)・70代(32.9%)では半数を下回るようになる。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶ 「経験した」は喫煙者(71.5%)が非喫煙者(57.4%)より14.1P多い。

Q5 受動喫煙の経験状況【SA】 集計結果

		(n)	経験した	経験しなかった	(%)
全体		(3,000)	60.2	39.8	
性別	男性	(1,502)	61.4	38.6	
	女性	(1,498)	58.9	41.1	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	経験した	経験しなかった
全体		(3,000)	60.2	39.8
性別	男性	(1,502)	61.4	38.6
	女性	(1,498)	58.9	41.1
性年代	男性/20代	(244)	68.4	31.6
	男性/30代	(278)	72.7	27.3
	男性/40代	(317)	61.8	38.2
	男性/50代	(283)	61.8	38.2
	男性/60代	(194)	47.4	52.6
	男性/70代	(186)	48.4	51.6
	女性/20代	(241)	74.3	25.7
	女性/30代	(269)	66.9	33.1
	女性/40代	(308)	68.5	31.5
	女性/50代	(268)	56.3	43.7
	女性/60代	(193)	46.6	53.4
	女性/70代	(219)	32.9	67.1
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	71.5	28.5
	非喫煙者(※)	(2,404)	57.4	42.6
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	100.0	0.0
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	0.0	100.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	100.0	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	0.0	100.0

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q6-1 受動喫煙の経験地域(都内or都外)【SA】

(Q6-1 Q5 で「経験した」と回答した方にお尋ねします。受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。)

【全体】

➤ 受動喫煙の経験地域(都内or都外)は「都内」が 92.2%を占めた。

【性別】

➤ 男女いずれも「都内」が 92%前後を占めた。

【男性年代別】

➤ すべての年代で「都内」が 87~95%の範囲にあるが、その割合は 20~50代(92~95%)が 60代・70代(87%前後)に比べて多い。

【女性年代別】

➤ すべての年代で「都内」が 82~96%の範囲にあるが、60代(82.2%)は他の年代(91~96%)に比べて少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤ 喫煙者・非喫煙者いずれも「都内」が 90%超だが、その割合は喫煙者(95.8%)が非喫煙者(91.2%)よりやや多い。

Q6-1 受動喫煙の経験地域(都内or都外)【SA】 集計結果

		(n)	都内	都外	(%)
全体		(1,805)	92.2	7.8	
性別	男性	(922)	92.6	7.4	
	女性	(883)	91.8	8.2	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	都内	都外
全体		(1,805)	92.2	7.8
性別	男性	(922)	92.6	7.4
	女性	(883)	91.8	8.2
性年代	男性/20代	(167)	94.0	6.0
	男性/30代	(202)	95.0	5.0
	男性/40代	(196)	94.4	5.6
	男性/50代	(175)	92.0	8.0
	男性/60代	(92)	88.0	12.0
	男性/70代	(90)	86.7	13.3
	女性/20代	(179)	93.3	6.7
	女性/30代	(180)	95.6	4.4
	女性/40代	(211)	92.4	7.6
	女性/50代	(151)	90.7	9.3
	女性/60代	(90)	82.2	17.8
	女性/70代	(72)	91.7	8.3
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(426)	95.8	4.2
	非喫煙者(※)	(1,379)	91.2	8.8
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	95.8	4.2
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	91.2	8.8
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0

- は全体+10ポイント以上
- は+5ポイント以上
- は-10ポイント以下
- は-5ポイント以下

Q6-2 受動喫煙の経験場所【MA】

(Q6-2 Q5で「経験した」と回答した方にお尋ねします。どこで受動喫煙を経験しましたか。)

【全体】

- ▶受動喫煙の経験場所としては「1位 路上 61.3%」がやや突出して多い。
- ▶これ以外の場所はいずれも30%未満に減少して、「2位 夜利用した飲食店 29.1%」「3位 日中に利用した飲食店 24.2%」が20%超、「4位 職場 13.6%」「5位 駅・空港等 11.2%」が10%超で、他の場所はいずれも8%未満であった。

【性別】

- ▶男女で「1位 路上 それぞれ 57.6%、65.2%」「2位 夜利用した飲食店 それぞれ 34.4%、23.7%」「3位 日中利用した飲食店 それぞれ 27.1%、21.2%」まで同じであった。
- ▶提示した場所10カ所中の7カ所で男性の受動喫煙経験割合が女性より多い。
- ▶以下の場所については男女差が大きい。

(男性>女性)

・夜利用した飲食店 :10.7P 差(男性 34.4%>女性 23.7%)

(女性>男性)

・路上 : 7.6P 差(女性 65.2%>男性 57.6%)

【男性年代別】

- ▶すべての年代で「路上」が最も多いが、その割合は40代(64.8%)が最も多く、これより年代が上がる下がるにつれて漸減していき、20代(45.5%)が最も少ない。
- ▶これに次いで多い場所は、20~60代では「夜利用した飲食店 29~40%」だが、70代のみは「日中に利用した飲食店 33.3%」であった。

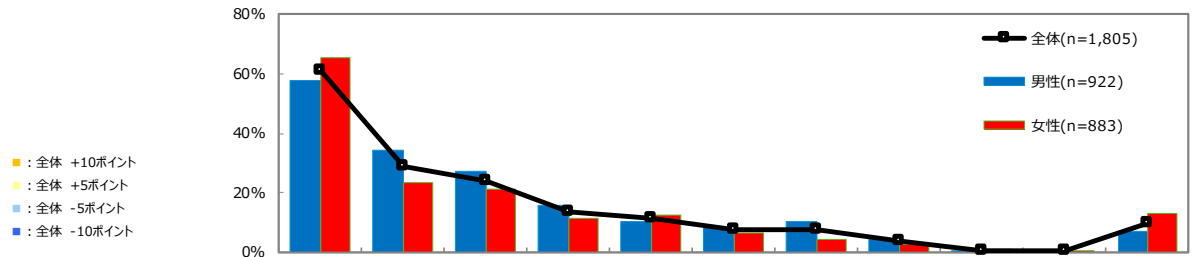
【女性年代別】

- ▶すべての年代で「路上」が最も多いが、その割合は30代・40代(いずれも71%強)が他の年代(61%前後)に比べて多い。
- ▶これに次いで多い場所は、20~40代は「夜利用した飲食店 20~37%」だが、50~70代では「日中に利用した飲食店 20%前後」であった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- ▶喫煙者・非喫煙者いずれも「1位 路上 それぞれ 49.8%、64.9%」「2位 夜利用した飲食店 それぞれ 32.2%、28.2%」「3位 日中に利用した飲食店 それぞれ 24.9%、24.0%」「4位 職場 それぞれ 16.9%、12.6%」まで同じだが、「路上」については非喫煙者が喫煙者より15.1P多い。

Q6-2 受動喫煙の経験場所【MA】 集計結果



「全体」の降順		(n)	路上	夜利用した飲食店 (レストラン・喫茶店・居酒屋等)	日中に利用した飲食店 (レストラン・喫茶店・居酒屋等)	職場	駅・空港等	商業施設 (百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等)	娯楽施設 (パチンコ店・ゲームセンター等)	宿泊施設 (ホテル・旅館等)	官公庁・病院等	保育所・幼稚園・学校等	その他
全体		(1,805)	61.3	29.1	24.2	13.6	11.2	7.5	7.4	3.5	0.7	0.6	9.8
性別	男性	(922)	57.6	34.4	27.1	15.8	10.2	8.7	10.5	4.6	0.5	0.7	6.8
	女性	(883)	65.2	23.7	21.2	11.3	12.2	6.3	4.2	2.5	0.8	0.5	12.9
性年代	男性20代	(167)	45.5	38.3	26.9	13.2	10.8	9.6	13.2	7.2	1.2	1.8	5.4
	男性30代	(202)	62.9	38.1	28.7	21.3	10.9	8.4	11.4	3.0	0.5	1.0	5.0
	男性40代	(196)	64.8	33.2	25.0	18.9	9.7	11.2	10.2	4.1	0.5	0.5	3.6
	男性50代	(175)	58.9	28.6	26.3	16.0	9.1	6.3	9.1	2.9	0.0	0.0	10.3
	男性60代	(92)	54.3	40.2	23.9	8.7	15.2	6.5	6.5	6.5	1.1	0.0	6.5
	男性70代	(90)	53.3	26.7	33.3	8.9	5.6	8.9	11.1	5.6	0.0	0.0	14.4
	女性20代	(179)	59.2	36.9	26.8	14.0	10.6	4.5	7.3	2.8	1.1	1.1	5.6
	女性30代	(180)	71.7	25.0	20.0	13.3	13.3	5.6	2.2	1.1	0.0	0.0	9.4
	女性40代	(211)	71.1	20.4	19.4	9.5	12.8	5.7	5.2	1.9	0.9	0.0	12.8
	女性50代	(151)	60.3	17.2	19.2	12.6	13.2	9.3	2.6	2.6	0.7	0.7	20.5
	女性60代	(90)	62.2	17.8	21.1	5.6	5.6	3.3	3.3	4.4	0.0	0.0	21.1
女性70代	(72)	61.1	18.1	19.4	9.7	18.1	12.5	2.8	4.2	2.8	1.4	13.9	
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(426)	49.8	32.2	24.9	16.9	9.6	9.9	12.2	4.2	0.9	1.2	8.5
	非喫煙者(※)	(1,379)	64.9	28.2	24.0	12.6	11.7	6.8	5.9	3.3	0.6	0.4	10.2
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	49.8	32.2	24.9	16.9	9.6	9.9	12.2	4.2	0.9	1.2	8.5
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	64.9	28.2	24.0	12.6	11.7	6.8	5.9	3.3	0.6	0.4	10.2
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受動喫煙の健康への影響認知	知っている	(1,765)	62.0	29.1	24.0	13.7	10.9	7.5	7.5	3.6	0.7	0.6	9.9
	知らなかった	(40)	32.5	32.5	32.5	12.5	25.0	10.0	5.0	2.5	0.0	0.0	7.5

*グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

Q7 他人のたばこの煙の感じ方【SA】

(Q7 あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。)

【全体】

- ▶ 他人のたばこの煙をどう感じるかについては、『不快感を覚える』が 58.7% (「不快感を覚える 21.8%」「強い不快感を覚える 31.4%」「体調不良を生じるほど不快感を覚える 5.5%」の合計。以下、同じ) で 6 割弱を占めた。
- ▶ これ以外では、「できれば受けたくない 29.9%」がほぼ 3 割、「特に何とも思わない 11.2%」が 1 割強を占めた。

【性別】

- ▶ 男女いずれも『不快感を覚える』が半数を超えたが、その割合は女性 (65.4%) が男性 (51.9%) より 13.5P 多い。
- ▶ これ以外も、男女いずれも「できれば受けたくない それぞれ 33.0%、26.8%」「特に何とも思わない それぞれ 14.7%、7.7%」の順であるが、「特に何とも思わない」については男性が女性のほぼ倍の割合であった。

【男性年代別】

- ▶ 20～60 代は『不快感を覚える』が 50%前後を占めるが、70 代ではその割合が 57.0%と多くなる。
- ▶ 一方、「特に何とも思わない」はすべての年代で 10%を超えているが、その割合は 60 代 (18.0%) が最も多く、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて減少し、70 代 (11.8%) が最も少ない。

【女性年代別】

- ▶ すべての年代で『不快感を覚える』が 60%を超えているが、その割合は 20 代・30 代 (68%強) が 40～70 代 (60～66%) に比べてやや多い。
- ▶ 「特に何とも思わない」はすべての年代で 10%未満であった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- ▶ 『不快感を覚える』は、「非喫煙者 67.5%」が「喫煙者 23.2%」よりかなり多い (44.3P 差)。
- ▶ 一方、「特に何とも思わない」は、「喫煙者 31.9%」が「非喫煙者 6.1%」よりかなり多い (25.8P 差)。

【受動喫煙経験の有無別】

- ▶ 『不快感を覚える』は、喫煙者では「受動喫煙経験あり 25.1%」「受動喫煙経験なし 18.2%」でいずれも 2 割前後に留まるが、非喫煙者では「受動喫煙経験あり 71.3%」「受動喫煙経験なし

62.3%」でいずれも 6 割を超えて大きく増加する。

Q7 他人のたばこの煙の感じ方【SA】 集計結果

		(n)	特に何とも思わない	できれば受けたくない	不快感を覚える	強い不快感を覚える	体調不良を生じるほど不快感を覚える	その他	(%)
全体		(3,000)	11.2	29.9	21.8	31.4	5.5		
性別	男性	(1,502)	14.7	33.0	21.4	26.0	4.5		
	女性	(1,498)	7.7	26.8	22.2	36.8	6.4		

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	特に何とも思わない	できれば受けたくない	不快感を覚える	強い不快感を覚える	体調不良を生じるほど不快感を覚える	その他	(%)
全体		(3,000)	11.2	29.9	21.8	31.4	5.5	0.2	
性別	男性	(1,502)	14.7	33.0	21.4	26.0	4.5	0.3	
	女性	(1,498)	7.7	26.8	22.2	36.8	6.4	0.1	
性年代	男性/20代	(244)	13.9	35.7	22.1	23.4	4.5	0.4	
	男性/30代	(278)	13.7	33.5	20.9	26.3	5.0	0.7	
	男性/40代	(317)	14.2	30.9	21.5	27.1	6.3	0.0	
	男性/50代	(283)	16.6	35.0	21.6	23.7	3.2	0.0	
	男性/60代	(194)	18.0	32.0	20.1	24.2	5.2	0.5	
	男性/70代	(186)	11.8	30.6	22.0	32.8	2.2	0.5	
	女性/20代	(241)	9.5	22.0	24.5	39.4	4.6	0.0	
	女性/30代	(269)	5.2	26.0	23.0	37.9	7.1	0.7	
	女性/40代	(308)	8.8	25.3	19.2	41.9	4.9	0.0	
	女性/50代	(268)	9.3	30.2	20.9	31.0	8.6	0.0	
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	31.9	44.6	16.1	6.9	0.2	0.3	
	非喫煙者(※)	(2,404)	6.1	26.2	23.2	37.5	6.8	0.2	
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	30.0	44.6	16.9	8.0	0.2	0.2	
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	36.5	44.7	14.1	4.1	0.0	0.6	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	4.4	24.0	22.2	41.6	7.5	0.4	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	8.4	29.3	24.5	32.0	5.9	0.0	

- は全体 + 10ポイント以上
- は + 5ポイント以上
- は - 10ポイント以下
- は - 5ポイント以下

Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスク【SA】

(Q8 あなたは、「加熱式たばこ」の受動喫煙リスクはどの程度あると思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。)

【全体】

- ▶加熱式たばこの受動喫煙リスクについては、『紙たばこと比べて小さい』が56.8%（「小さい 40.9%」「かなり小さい 15.9%」の合計。以下、同じ）を占めて半数を超えている。
- ▶これ以外では、「紙たばこと同レベル」が36.2%、「受動喫煙リスクがほぼ無い」が7.0%であった。

【性別】

- ▶男女いずれも『紙たばこと比べて小さい』が57%前後で半数を超えている。
- ▶これ以外の「紙たばこと同レベル それぞれ35.2%、37.2%」「受動喫煙リスクがほぼ無い それぞれ8.3%、5.7%」についても男女差は大きなものではない。

【男性年代別】

- ▶すべての年代で『紙たばこと比べて小さい』が半数を超えている。その割合に年代による傾向は見受けられないが、60代(63.4%)が最も多く、40代(51.7%)が最も少ない。
- ▶一方、「受動喫煙リスクがほぼ無い」は、40～70代(10%前後)が20代・30代(5%前後)に比べて多い。

【女性年代別】

- ▶すべての年代で『紙たばこと比べて小さい』が半数を超えている。その割合に年代による傾向は見受けられないが、30代(61.0%)が最も多く、40代(52.3%)が最も少ない。
- ▶一方、「受動喫煙リスクがほぼ無い」は、50代(10.8%)が他の年代(3～7%)に比べてやや多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

- ▶喫煙者・非喫煙者いずれも『紙たばこと比べて小さい』が半数を超えたが、その割合は「喫煙者 64.6%」が「非喫煙者 54.9%」より9.7P多い。
- ▶「受動喫煙リスクがほぼ無い」も「喫煙者 10.4%」が「非喫煙者 6.2%」より多い。
- ▶一方、「紙たばこと同レベル」は、「非喫煙者 39.0%」が「喫煙者 25.0%」より14.0P多い。

【受動喫煙経験の有無別】

- ▶「紙たばこと比べて小さい」は、喫煙者では「受動喫煙経験あり 66.7%」「受動喫煙経験なし 59.4%」だが、非喫煙者では同割合は減少し「受動喫煙経験あり」「受動喫煙経験なし」いずれも55%前後になる。

▶一方、「紙たばこと同レベル」は、喫煙者では受動喫煙の「経験あり」「経験なし」に関わらず 25%前後だが、非喫煙者では「経験あり 41.9%」「経験なし 35.0%」と増加する。

Q8 加熱式たばこの受動喫煙リスク【SA】 集計結果

		(n)	加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで周囲の人に受動喫煙リスクを与える	加熱式たばこは、紙巻きたばこ比べて、周囲の人への受動喫煙リスクが小さい	加熱式たばこは、紙巻きたばこ比べて、周囲の人への受動喫煙リスクがかなり小さい	加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙リスクがほぼ無い	(%)
全体		(3,000)	36.2	40.9	15.9	7.0	
性別	男性	(1,502)	35.2	39.6	16.8	8.3	
	女性	(1,498)	37.2	42.3	14.9	5.7	

*2.0%未満は値表示なし

		(n)	煙と加熱式たばこと同レベルを与える周囲の喫煙者	煙と加熱式たばこ比べて、周囲の喫煙者の紙巻きたばこの受動喫煙リスクが小さい	煙と加熱式たばこ比べて、周囲の喫煙者の紙巻きたばこの受動喫煙リスクがかなり小さい	煙と加熱式たばこ比べて、周囲の喫煙者の紙巻きたばこの受動喫煙リスクがほぼ無い	の加熱式たばこは、周囲の喫煙者の受動喫煙リスクがほぼ無い
全体		(3,000)	36.2	40.9	15.9	7.0	
性別	男性	(1,502)	35.2	39.6	16.8	8.3	
	女性	(1,498)	37.2	42.3	14.9	5.7	
性年代	男性/20代	(244)	38.5	41.4	13.5	6.6	
	男性/30代	(278)	36.7	42.1	16.9	4.3	
	男性/40代	(317)	38.5	38.5	13.2	9.8	
	男性/50代	(283)	32.9	36.7	19.8	10.6	
	男性/60代	(194)	27.3	40.7	22.7	9.3	
	男性/70代	(186)	34.9	38.7	16.7	9.7	
	女性/20代	(241)	39.8	47.3	10.0	2.9	
	女性/30代	(269)	36.1	47.6	13.4	3.0	
	女性/40代	(308)	42.9	39.6	12.7	4.9	
	女性/50代	(268)	33.6	41.0	14.6	10.8	
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	25.0	43.6	21.0	10.4	
	非喫煙者(※)	(2,404)	39.0	40.3	14.6	6.2	
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	25.6	45.3	21.4	7.7	
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	23.5	39.4	20.0	17.1	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	41.9	42.2	12.3	3.6	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	35.0	37.7	17.7	9.7	

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q9 受動喫煙防止対策の認知度【SA】

(Q9 あなたは、国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてどの程度知っていますか。)

【全体】

➤国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙防止対策について『知っている』は77.2%(※)を占めた。

※「内容までよく理解 4.2%」「だいたい理解 28.3%」「名前だけは知っている 44.8%」の合計。以下、同じ。

➤国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙防止対策について『理解している』は32.4%(※)であった。

※「内容までよく理解 4.2%」「だいたい理解 28.3%」の合計。以下、同じ。

【性別】

➤『知っている』は男性(82.4%)が女性(72.0%)より10.4P多い。

➤『理解している』は男性(37.7%)が女性(27.1%)より10.6P多い。

【男性年代別】

➤『知っている』はすべての年代が78~86%の範囲にあるが、40代(86.1%)が他の年代(80%前後)に比べて多い。

➤『理解している』はすべての年代が34~42%の範囲にあるが、60代(42.3%)が最も多く、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて少なくなり、20代(34.4%)が最も少ない。

【女性年代別】

➤『知っている』はすべての年代が68~74%の範囲にあるが、30代(68.0%)のみが70%を下回った。

➤『理解している』はすべての年代が24~31%の範囲にあるが、70代(30.6%)のみが30%を上回った。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤『知っている』は喫煙者(86.6%)が非喫煙者(74.9%)より11.7P多い。

➤『理解している』では差が拡大して、喫煙者(51.2%)が非喫煙者(27.8%)より23.4P多くなる。

【受動喫煙経験の有無別】

➤『知っている』は、受動喫煙経験者(「喫煙者 91.3%」「非喫煙者 82.4%」)が、受動喫煙非経験者(「喫煙者 74.7%」「非喫煙者 64.8%」)に比べて多い。

▶『理解している』は、喫煙者（「受動経験あり 56.1%」「受動経験なし 38.8%」）が非喫煙者（「受動経験あり 33.8%」「受動経験なし 19.7%」）に比べて多い。

Q9 受動喫煙防止対策の認知度【SA】 集計結果

		(n)	内容までよく理解している	だいたい理解している	名前だけは知っている	名前を聞いたことがない・わからない	(%)
全体		(3,000)	4.2	28.3	44.8	22.8	
性別	男性	(1,502)	5.2	32.6	44.6	17.6	
	女性	(1,498)	3.1	24.0	44.9	28.0	

*2.0%未満は値表示なし

		(n)	内容までよく理解している	だいたい理解している	名前だけは知っている	名前を聞いたことがない・わからない
全体		(3,000)	4.2	28.3	44.8	22.8
性別	男性	(1,502)	5.2	32.6	44.6	17.6
	女性	(1,498)	3.1	24.0	44.9	28.0
性年代	男性/20代	(244)	8.2	26.2	43.9	21.7
	男性/30代	(278)	6.1	32.7	43.5	17.6
	男性/40代	(317)	5.4	31.5	49.2	13.9
	男性/50代	(283)	2.8	34.3	44.9	18.0
	男性/60代	(194)	6.7	35.6	39.2	18.6
	男性/70代	(186)	1.6	36.6	44.6	17.2
	女性/20代	(241)	5.8	19.9	46.1	28.2
	女性/30代	(269)	4.1	24.2	39.8	32.0
	女性/40代	(308)	3.2	24.0	46.1	26.6
	女性/50代	(268)	1.9	24.6	45.9	27.6
喫煙・非喫煙	喫煙者（※）	(596)	8.4	42.8	35.4	13.4
	非喫煙者（※）	(2,404)	3.1	24.7	47.1	25.1
受動喫煙有無	喫煙者（※）× 受動喫煙あり	(426)	8.9	47.2	35.2	8.7
	喫煙者（※）× 受動喫煙なし	(170)	7.1	31.8	35.9	25.3
	非喫煙者（※）× 受動喫煙あり	(1,379)	4.2	29.6	48.6	17.6
	非喫煙者（※）× 受動喫煙なし	(1,025)	1.7	18.0	45.1	35.2

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q10 第一種施設屋内禁煙の認知度【SA】

(Q10 行政機関や病院などでは、屋内禁煙となったことを知っていますか。)

【全体】

➤行政機関や病院などでは屋内禁煙となったことを「知っている」は 82.7%を占めた。

【性別】

➤「知っている」は男女いずれも 83%前後であった。

【男性年代別】

➤「知っている」は 70 代(91.9%)が 20～60 代(79～82%)に比べて多い。

【女性年代別】

➤「知っている」は 60 代(88.1%)・70 代(91.8%)が 20～50 代(79～84%)に比べて多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤「知っている」は喫煙者(90.3%)が非喫煙者(80.8%)より 9.5P 多い。

【受動喫煙経験の有無別】

➤「知っている」は、「受動喫煙経験あり」が「喫煙者 95.1%」「非喫煙者 86.6%」で、「受動喫煙経験なし」が「喫煙者 78.2%」「非喫煙者 73.1%」であることに比べて多い。

Q10 第一種施設屋内禁煙の認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	82.7	17.3	
性別	男性	(1,502)	82.3	17.7	
	女性	(1,498)	83.1	16.9	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(3,000)	82.7	17.3
性別	男性	(1,502)	82.3	17.7
	女性	(1,498)	83.1	16.9
性年代	男性/20代	(244)	79.1	20.9
	男性/30代	(278)	82.4	17.6
	男性/40代	(317)	82.3	17.7
	男性/50代	(283)	79.5	20.5
	男性/60代	(194)	80.9	19.1
	男性/70代	(186)	91.9	8.1
	女性/20代	(241)	78.8	21.2
	女性/30代	(269)	84.0	16.0
	女性/40代	(308)	78.6	21.4
	女性/50代	(268)	80.6	19.4
	女性/60代	(193)	88.1	11.9
	女性/70代	(219)	91.8	8.2
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	90.3	9.7
	非喫煙者(※)	(2,404)	80.8	19.2
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	95.1	4.9
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	78.2	21.8
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	86.6	13.4
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	73.1	26.9

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q11 学校等敷地内禁煙の認知度【SA】

(Q11 保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙(敷地内の屋外も喫煙不可(努力義務))となったことを知っていますか。)

【全体】

▶ 保育所・幼稚園・学校などは敷地内禁煙(敷地内の屋外も喫煙不可(努力義務))となったことを「知っている」は75.5%を占めた。

【性別】

▶ 「知っている」は男女いずれも75%前後であった。

【男性年代別】

▶ 「知っている」は50代(70.7%)が最も少なく、これより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、70代(85.5%)が最も多い。

【女性年代別】

▶ 「知っている」は40代(70.1%)が最も少なく、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、60代(78.8%)が最も多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶ 「知っている」は喫煙者(86.2%)が非喫煙者(72.8%)より13.4P多い。

【受動喫煙経験の有無別】

▶ 「知っている」は、「受動喫煙経験あり」が「喫煙者 90.6%」「非喫煙者 78.5%」で、「受動喫煙経験なし」が「喫煙者 75.3%」「非喫煙者 65.2%」であることに比べて多い。

Q11 学校等敷地内禁煙の認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	75.5	24.5	
性別	男性	(1,502)	76.2	23.8	
	女性	(1,498)	74.8	25.2	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(3,000)	75.5	24.5
性別	男性	(1,502)	76.2	23.8
	女性	(1,498)	74.8	25.2
性年代	男性/20代	(244)	77.5	22.5
	男性/30代	(278)	77.0	23.0
	男性/40代	(317)	76.0	24.0
	男性/50代	(283)	70.7	29.3
	男性/60代	(194)	73.2	26.8
	男性/70代	(186)	85.5	14.5
	女性/20代	(241)	75.9	24.1
	女性/30代	(269)	75.1	24.9
	女性/40代	(308)	70.1	29.9
	女性/50代	(268)	75.0	25.0
	女性/60代	(193)	78.8	21.2
	女性/70代	(219)	75.8	24.2
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	86.2	13.8
	非喫煙者(※)	(2,404)	72.8	27.2
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	90.6	9.4
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	75.3	24.7
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	78.5	21.5
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	65.2	34.8

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q12 飲食店における原則屋内禁煙の認知度【SA】

(Q12 2020年4月1日から、飲食店は、原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可)となったことを知っていますか。)

【全体】

➤2020年4月1日から飲食店は原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可)となったことを「知っている」は75.2%を占めた。

【性別】

➤「知っている」は男性(78.0%)が女性(72.5%)より5.5P多い。

【男性年代別】

➤「知っている」は20～40代(80%前後)が50～70代(76%前後)よりやや多い。

【女性年代別】

➤「知っている」は年代による傾向は特に見受けられないが、30代(77.7%)が最も多く、40代(67.5%)が最も少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤「知っている」は喫煙者(88.1%)が非喫煙者(72.0%)より16.1P多い。

【受動喫煙経験の有無別】

➤「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が92.5%で最も多く、「喫煙者で受動喫煙経験なし」「非喫煙者で受動喫煙経験あり」がいずれも77.1%で、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が65.3%で最も少ない。

Q12 飲食店における原則屋内禁煙の認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	75.2	24.8	
性別	男性	(1,502)	78.0	22.0	
	女性	(1,498)	72.5	27.5	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(3,000)	75.2	24.8
性別	男性	(1,502)	78.0	22.0
	女性	(1,498)	72.5	27.5
性年代	男性/20代	(244)	80.3	19.7
	男性/30代	(278)	78.8	21.2
	男性/40代	(317)	79.5	20.5
	男性/50代	(283)	76.7	23.3
	男性/60代	(194)	75.3	24.7
	男性/70代	(186)	75.8	24.2
	女性/20代	(241)	71.0	29.0
	女性/30代	(269)	77.7	22.3
	女性/40代	(308)	67.5	32.5
	女性/50代	(268)	73.9	26.1
	女性/60代	(193)	70.5	29.5
	女性/70代	(219)	74.9	25.1
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	88.1	11.9
	非喫煙者(※)	(2,404)	72.0	28.0
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	92.5	7.5
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	77.1	22.9
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	77.1	22.9
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	65.3	34.7

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q13 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度【SA】

(Q13 2020年4月1日から、多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)は、原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可)となったことを知っていますか。)

【全体】

▶2020年4月1日から多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)は原則屋内禁煙(基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可)となったことを「知っている」は55.1%であった。

【性別】

▶「知っている」は男性(60.3%)が女性(49.8%)より10.5P多い。

【男性年代別】

▶「知っている」はすべての年代が59~63%の範囲にあるが、40代(62.8%)が最も多く、70代(58.6%)が最も少ない。

【女性年代別】

▶「知っている」は40代(41.6%)が最も少なく、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、70代(56.2%)が最も多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶「知っている」は喫煙者(75.2%)が非喫煙者(50.1%)より25.1P多い。

【受動喫煙経験の有無別】

▶「知っている」は、喫煙者が「受動喫煙経験あり 78.6%」「受動喫煙経験なし 66.5%」で、非喫煙者が「受動喫煙経験あり 54.2%」「受動喫煙経験なし 44.5%」であることに比べて多い。

Q13 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	55.1	44.9	
性別	男性	(1,502)	60.3	39.7	
	女性	(1,498)	49.8	50.2	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(3,000)	55.1	44.9
性別	男性	(1,502)	60.3	39.7
	女性	(1,498)	49.8	50.2
性年代	男性/20代	(244)	60.2	39.8
	男性/30代	(278)	60.4	39.6
	男性/40代	(317)	62.8	37.2
	男性/50代	(283)	59.4	40.6
	男性/60代	(194)	59.3	40.7
	男性/70代	(186)	58.6	41.4
	女性/20代	(241)	45.6	54.4
	女性/30代	(269)	52.8	47.2
	女性/40代	(308)	41.6	58.4
	女性/50代	(268)	51.1	48.9
	女性/60代	(193)	54.9	45.1
	女性/70代	(219)	56.2	43.8
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	75.2	24.8
	非喫煙者(※)	(2,404)	50.1	49.9
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	78.6	21.4
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	66.5	33.5
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	54.2	45.8
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	44.5	55.5

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q14 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度【SA】

(Q14 飲食店※を含む多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)で、喫煙室を設けた場合、標識の表示が義務化されたことを知っていますか。※飲食店の場合は、禁煙の場合も標識の表示が義務化されています。)

【全体】

▶ 飲食店を含む多数の人(2人以上)が利用する施設(事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等)で喫煙室を設けた場合、標識の表示が義務化されたことを「知っている」は 44.9%であった。

【性別】

▶ 「知っている」は男性(49.9%)が女性(39.9%)より 10.0P 多い。

【男性年代別】

▶ 「知っている」は年代による傾向は見受けられないが、20代(55.3%)が最も多く、60代(44.3%)が最も少ない。

【女性年代別】

▶ 「知っている」は年代による傾向は見受けられないが、60代(44.0%)が最も多く、40代(36.0%)が最も少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶ 「知っている」は喫煙者(64.8%)が非喫煙者(40.0%)より 24.8P 多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

▶ 「知っている」は、喫煙者が「受動喫煙経験あり 69.0%」「受動喫煙経験なし 54.1%」で、非喫煙者が「受動喫煙経験あり 43.6%」「受動喫煙経験なし 35.2%」であることに比べて多い。

Q14 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度【SA】

集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	44.9	55.1	
性別	男性	(1,502)	49.9	50.1	
	女性	(1,498)	39.9	60.1	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い
全体		(3,000)	44.9	55.1
性別	男性	(1,502)	49.9	50.1
	女性	(1,498)	39.9	60.1
性年代	男性/20代	(244)	55.3	44.7
	男性/30代	(278)	48.9	51.1
	男性/40代	(317)	53.9	46.1
	男性/50代	(283)	48.8	51.2
	男性/60代	(194)	44.3	55.7
	男性/70代	(186)	45.2	54.8
	女性/20代	(241)	39.4	60.6
	女性/30代	(269)	42.8	57.2
	女性/40代	(308)	36.0	64.0
	女性/50代	(268)	39.2	60.8
	女性/60代	(193)	44.0	56.0
	女性/70代	(219)	39.7	60.3
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	64.8	35.2
	非喫煙者(※)	(2,404)	40.0	60.0
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	69.0	31.0
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	54.1	45.9
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	43.6	56.4
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	35.2	64.8

■	は全体 + 10ポイント以上
■	は + 5ポイント以上
■	は - 10ポイント以下
■	は - 5ポイント以下

Q15 飲食店頭の表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の認知度【SA】

(Q15 あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙かなどの表示を見たことがありますか。)

【全体】

➤ 飲食店頭の表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)を「見たことがある」は 72.3%を占めた。

【性別】

➤ 「見たことがある」は男女いずれも 72%強であった。

【男性年代別】

➤ 「見たことがある」は 20 代(77.5%)が最も多く、年代が上がるにつれて少なくなり、70 代(63.4%)が最も少ない。

【女性年代別】

➤ 「見たことがある」は 20 代・30 代(76%前後)が 40～70 代(70%前後)に比べて多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

➤ 「見たことがある」は喫煙者(84.4%)が非喫煙者(69.3%)より 15.1P 多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

➤ 「見たことがある」は、「受動喫煙経験あり」が「喫煙者 91.3%」「非喫煙者 77.3%」で、「受動喫煙経験なし」が「喫煙者 67.1%」「非喫煙者 58.5%」であることに比べて多い。

Q15 飲食店頭の表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の認知度【SA】 集計結果

		(n)	見たことがある	見たことはない	(%)
全体		(3,000)	72.3	27.7	
性別	男性	(1,502)	72.6	27.4	
	女性	(1,498)	72.0	28.0	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	見たことがある	見たことはない
全体		(3,000)	72.3	27.7
性別	男性	(1,502)	72.6	27.4
	女性	(1,498)	72.0	28.0
性年代	男性/20代	(244)	77.5	22.5
	男性/30代	(278)	75.9	24.1
	男性/40代	(317)	73.8	26.2
	男性/50代	(283)	71.7	28.3
	男性/60代	(194)	70.1	29.9
	男性/70代	(186)	63.4	36.6
	女性/20代	(241)	74.7	25.3
	女性/30代	(269)	76.6	23.4
	女性/40代	(308)	71.8	28.2
	女性/50代	(268)	70.9	29.1
	女性/60代	(193)	67.9	32.1
	女性/70代	(219)	68.5	31.5
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	84.4	15.6
	非喫煙者(※)	(2,404)	69.3	30.7
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	91.3	8.7
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	67.1	32.9
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	77.3	22.7
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	58.5	41.5

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q16 飲食店頭表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の参考度合【SA】

(Q16 飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙かなどの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。)

【全体】

▶ 飲食店頭の表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)を『参考にする』は 71.3%(「必ず参考にする 25.4%」「どちらかと言えば参考にする 45.9%」の合計。以下、同じ。)を占めた。

【性別】

▶ 『参考にする』は女性(75.7%)が男性(66.9%)より 8.8P 多い。

【男性年代別】

▶ 『参考にする』は 20 代(60.2%)が 30～70 代(66～71%)に比べて少ない。

【女性年代別】

▶ 『参考にする』は年代による傾向は見受けられないが、70 代(83.1%)が最も多く、20 代(66.4%)が最も少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶ 「参考にする」は喫煙者(78.9%)が非喫煙者(69.4%)より 9.5P 多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

▶ 「参考にする」は、「受動喫煙経験あり」が「喫煙者 81.2%」「非喫煙者 75.0%」で、「受動喫煙経験なし」が「喫煙者 72.9%」「非喫煙者 62.0%」であることに比べて多い。

Q16 飲食店頭表示(「喫煙室の有無」「禁煙」等)の参考度合【SA】 集計結果

		(n)	必ず参考にする	どちらかといえば参考にする	どちらかといえば参考にしない	全く参考にしない	(%)
全体		(3,000)	25.4	45.9	15.5	13.2	
性別	男性	(1,502)	23.4	43.5	18.2	14.9	
	女性	(1,498)	27.5	48.2	12.8	11.5	

*2.0%未満は値表示なし

		(n)	必ず参考にする	どちらかといえば参考にする	どちらかといえば参考にしない	全く参考にしない
全体		(3,000)	25.4	45.9	15.5	13.2
性別	男性	(1,502)	23.4	43.5	18.2	14.9
	女性	(1,498)	27.5	48.2	12.8	11.5
性年代	男性/20代	(244)	16.8	43.4	20.5	19.3
	男性/30代	(278)	22.3	43.2	18.0	16.5
	男性/40代	(317)	29.3	41.0	17.7	12.0
	男性/50代	(283)	22.6	44.2	15.5	17.7
	男性/60代	(194)	24.2	46.4	18.6	10.8
	男性/70代	(186)	23.7	44.6	19.9	11.8
	女性/20代	(241)	16.6	49.8	17.8	15.8
	女性/30代	(269)	22.3	57.6	11.2	8.9
	女性/40代	(308)	26.9	46.4	12.7	14.0
	女性/50代	(268)	32.8	42.9	11.6	12.7
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	32.7	46.1	12.2	8.9
	非喫煙者(※)	(2,404)	23.6	45.8	16.3	14.3
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	36.2	45.1	12.2	6.6
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	24.1	48.8	12.4	14.7
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	26.7	48.3	14.4	10.6
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	19.5	42.4	18.8	19.2

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q17 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度【SA】

(Q17 法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になることを知っていますか。※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。)

【全体】

▶ 法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料等の対象になることを「知っている」は42.4%であった。

【性別】

▶ 「知っている」は男性(49.9%)が女性(34.8%)より15.1P多い。

【男性年代別】

▶ 「知っている」は20～60代(50%前後)が70代(44.1%)に比べて多い。

【女性年代別】

▶ 「知っている」は年代による傾向は見受けられないが、50代(38.1%)が最も多く、60代(29.0%)が最も少ない。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶ 「知っている」は喫煙者(59.6%)が非喫煙者(38.1%)より21.5P多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

▶ 「知っている」は、喫煙者が「受動喫煙経験あり 64.6」「受動喫煙経験なし 47.1%」で、非喫煙者が「受動喫煙経験あり 42.4%」「受動喫煙経験なし 32.4%」であることに比べて多い。

Q17 法律・条令違反が指導・過料等の対象となることの認知度【SA】 集計結果

		(n)	知っている	知らない	(%)
全体		(3,000)	42.4	57.6	
性別	男性	(1,502)	49.9	50.1	
	女性	(1,498)	34.8	65.2	

* 2.0%未満は値表示なし

		(n)	知 っ て い る	知 ら な い	
全体		(3,000)	42.4	57.6	
性別	男性	(1,502)	49.9	50.1	
	女性	(1,498)	34.8	65.2	
性年代	男性/20代	(244)	51.6	48.4	
	男性/30代	(278)	51.1	48.9	
	男性/40代	(317)	52.7	47.3	
	男性/50代	(283)	48.8	51.2	
	男性/60代	(194)	49.0	51.0	
	男性/70代	(186)	44.1	55.9	
	女性/20代	(241)	35.7	64.3	
	女性/30代	(269)	37.5	62.5	
	女性/40代	(308)	32.8	67.2	
	女性/50代	(268)	38.1	61.9	
	女性/60代	(193)	29.0	71.0	
	女性/70代	(219)	34.7	65.3	
	喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	59.6	40.4
		非喫煙者(※)	(2,404)	38.1	61.9
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	64.6	35.4	
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	47.1	52.9	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	42.4	57.6	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	32.4	67.6	

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度【MA】

(Q18 受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行っています。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。)

【全体】

- ▶ 受動喫煙防止条例の周知のために都が行っている広報の中で「見たり聞いたりしたことがあるもの」としては、「1位 テレビ」を回答者の38.2%が挙げて最も多い。
- ▶ 以下、「2位 ポスター 22.4%」「3位 インターネット・SNS 21.4%」が20%超、「4位 東京都・区市町村の広報誌 17.3%」「5位 新聞・雑誌 13.6%」「6位 電車内ビジョン・屋外ビジョン 10.3%」が10%超で、これら以外の広報媒体についてはいずれも7%未満であった。
- ▶ 一方、「見たことがない・聞いたことがない」が31.1%を占めた。

【性別】

- ▶ 男女いずれも「テレビ」を38%前後が挙げて最も多い。
- ▶ これに次いで多い広報媒体は、男性は「インターネット・SNS 24.3%」だが、女性は「ポスター 20.9%」であった。
- ▶ 「インターネット・SNS」では男女差が8.9Pでやや大きい(男性25.8%>女性16.9%)。
- ▶ 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は女性(32.6%)が男性(29.5%)よりやや多い。

【男性年代別】

- ▶ すべての年代で「テレビ 35~45%」が最も多い。
- ▶ これに次いで多い広報媒体は年代によって異なり、20代・40代・60代は「インターネット・SNS 25~32%」、30代・50代は「ポスター 24~30%」、70代は「東京都や区市町村の広報誌 31.2%」であった。
- ▶ 年代による傾向が目立つ広報媒体としては以下がある。
 - ・テレビ : 70代(45.2%)>20~60代(35~40%)
 - ・新聞/雑誌 : 年代が上がるにつれて増加(20代9.8%→70代26.9%)
 - ・インターネット・SNS : 20~40代(28~32%)>50~70代(19~25%)
 - ・電車内/屋外ビジョン : 20代(19.7%)>30・40・70代(10%前後)>50・60代(5%強)
 - ・広報誌 : 70代(31.2%)>60代(21.1%)>20~50代(11~16%)
 - ・ポスター : 30代(29.9%)>他年代(22~24%)
- ▶ 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は年代による傾向は見受けられないが、50代(34.6%)が最も多く、60代(26.3%)が最も少ない。

【女性年代別】

- ▶すべての年代で「テレビ 34～46%」が最も多い。
- ▶これに次いで多い広報媒体は、20～50代では「ポスター 19～24%」、60代・70代では「東京都や区市町村の広報誌 26.9%、32.9%」であった。
- ▶年代による傾向が目立つ広報媒体としては以下がある。
 - ・テレビ :60代・70代(46%前後) > 20～50代(34～39%)
 - ・新聞/雑誌 :年代が上がるにつれて増加(20代 5.8%→70代 27.9%)
 - ・インターネット・SNS :20・30・40・70代(18～20%) > 50・60代(13%前後)
 - ・電車内/屋外ビジョン :20代(19.1%) > 30代(12.6%) > 40～70代(6～10%)
 - ・広報誌 :70代(32.9%) > 60代(26.9%) > 20～50代(11～15%)
 - ・ポスター :60代(17.1%)を底に年代が上がる・下がるにつれて漸増
- ▶一方、「見たことがない・聞いたことがない」は30代(39.8%)が最も多く、概ねこれより年代が上がる下がるにつれて減少し、20代(24.9%)が最も少ない。

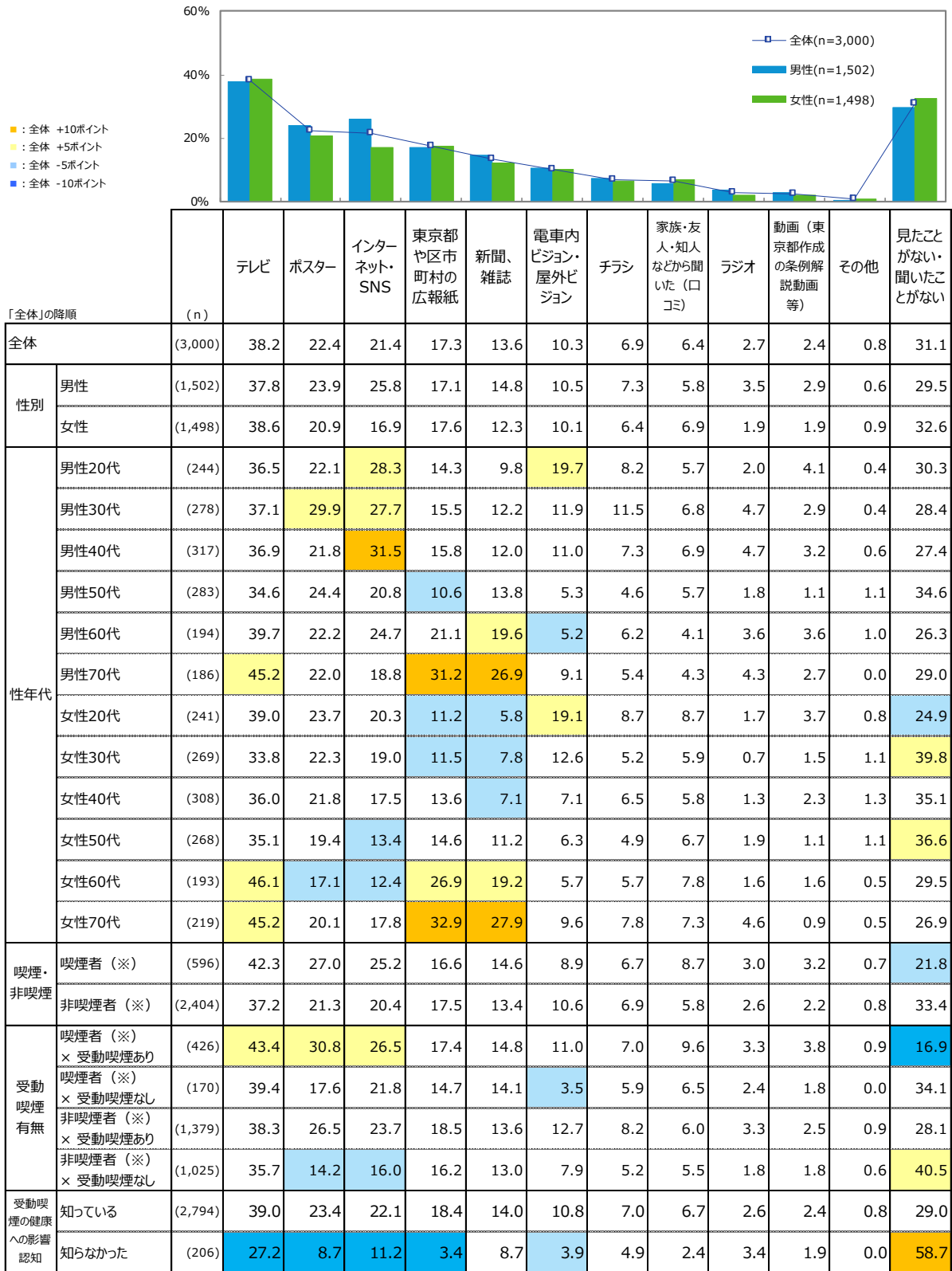
【喫煙者・非喫煙者別】

- ▶喫煙者・非喫煙者で「見たたり聞いたたりしたことがあるもの」の選択率は上位1～6位まで全体集計と同じであった。
- ▶一方、「見たことがない・聞いたことがない」は、非喫煙者(33.4%)が喫煙者(21.8%)より11.6P多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

- ▶喫煙・非喫煙、受動喫煙経験の有無に関わらず「テレビ 36～43%」が最も多い。
- ▶一方、「見たことがない・聞いたことがない」は、「受動喫煙経験なし」が「喫煙者 34.1%」「非喫煙者 40.5%」で、「受動喫煙経験あり」が「喫煙者 16.9%」「非喫煙者 28.1%」であることに比べて多い。

Q18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度【MA】 集計結果



*グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価【SA】

(Q19 東京都の受動喫煙防止条例の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じです。都の条例は、「人(従業員や20歳未満の子供)を守る」という観点から、(1)従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙(2)飲食店は禁煙の場合も店頭で標識を掲示(3)小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可(努力義務)を、国の法律に加える形で規定しています。都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられます。)

【全体】

▶都の受動喫煙防止条例について『良い取り組みだと思う』は91.9%（「良い取り組み 65.8%」「やや良い取り組み 26.1%」の合計。以下、同じ。）を占めた。

【性別】

▶『良い取り組みだと思う』は女性(95.2%)が男性(88.5%)より6.7P多い。

【男性年代別】

▶『良い取り組みだと思う』は40代(84.9%)が最も少なく、概ねこれより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、70代(96.2%)が最も多い。

【女性年代別】

▶『良い取り組みだと思う』は50代(92.5%)が最も少なく、これより年代が上がる・下がるにつれて多くなり、70代(97.3%)が最も多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

▶『良い取り組みだと思う』は、非喫煙者(95.6%)が喫煙者(76.8%)より18.8P多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

▶『良い取り組みだと思う』は、非喫煙者が「受動喫煙経験あり 97.2%」「受動喫煙経験なし 93.4%」で、喫煙者が「受動喫煙経験あり 77.9%」「受動喫煙経験なし 74.1%」であることに比べて多い。

Q19 都の受動喫煙防止条例に対する評価【SA】 集計結果

		(n)	良い取り組みだと思う	やや良い取り組みだと思う	あまり良くない取り組みだと思う	良くない取り組みだと思う	(%)
全体		(3,000)	65.8	26.1	4.8	3.3	
性別	男性	(1,502)	60.2	28.4	6.6	4.9	
	女性	(1,498)	71.4	23.8	3.1		

*2.0%未満は値表示なし

		(n)	思 う 取 り 組 み だ と	良 い 取 り 組 み	だ や と 思 う 取 り 組 み	り あ ま り だ と 思 う 取	だ 良 く 思 う 取 り 組 み
全体		(3,000)	65.8	26.1	4.8	3.3	
性別	男性	(1,502)	60.2	28.4	6.6	4.9	
	女性	(1,498)	71.4	23.8	3.1	1.7	
性年代	男性/20代	(244)	52.0	36.9	5.7	5.3	
	男性/30代	(278)	60.8	29.1	6.1	4.0	
	男性/40代	(317)	58.0	26.8	9.5	5.7	
	男性/50代	(283)	55.8	30.0	6.7	7.4	
	男性/60代	(194)	66.5	22.2	7.2	4.1	
	男性/70代	(186)	73.7	22.6	2.7	1.1	
	女性/20代	(241)	66.4	30.7	1.7	1.2	
	女性/30代	(269)	69.9	26.0	2.6	1.5	
	女性/40代	(308)	70.5	24.0	3.2	2.3	
	女性/50代	(268)	69.4	23.1	4.9	2.6	
喫煙・非喫煙	喫煙者(※)	(596)	36.2	40.6	13.6	9.6	
	非喫煙者(※)	(2,404)	73.1	22.5	2.7	1.7	
受動喫煙有無	喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(426)	39.4	38.5	13.6	8.5	
	喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(170)	28.2	45.9	13.5	12.4	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙あり	(1,379)	75.6	21.7	2.3	0.4	
	非喫煙者(※) × 受動喫煙なし	(1,025)	69.8	23.6	3.1	3.5	

■	は全体+10ポイント以上
■	は+5ポイント以上
■	は-10ポイント以下
■	は-5ポイント以下

Q20 都の受動喫煙防止条例に対する評価の理由【FA】

(Q20 Q19 での回答の理由をご記入ください。)

(1)都の受動喫煙防止条例を「良い取組だと思う」「やや良い取組だと思う」と評価した回答者

(計 2,756 人。内、喫煙者 458 人、非喫煙者 2,298 人)

■ 良い取り組みだと思う理由としては、以下が多く挙げられた。

①受動喫煙(副流煙)の防止のため

(計 535 件。内、喫煙者 66 件、非喫煙者 469 件)

②健康のため

(計 527 件。内、喫煙者 72 件、非喫煙者 455 件)

③非喫煙者や周囲への配慮

(計 239 件。内、喫煙者 90 件、非喫煙者 149 件)

④たばこや煙に対する嫌悪感

(計 206 件。内、喫煙者 1 件、非喫煙者 205 件)

■ 以下にコメントを抜粋した。

①受動喫煙(副流煙)の防止のため

- ・受動喫煙は周りに迷惑をかけるから、喫煙者にわかってもらうためにも良いと思う。
- ・本人の意思とは反した形で、被害を受けてしまう危険から回避する事が出来る。
- ・受動喫煙の健康被害をだしてはいけないと思うから。
- ・受動喫煙への取り組みが感じられるので。
- ・喫煙者は身体へのリスクを承知して吸っているが、非喫煙者には害でしかない。

②健康のため

- ・吸う人もそうでない人も健康が守られると思うから。
- ・健康で住みやすい世の中のため。
- ・健康が一番。多少強制力が必要。
- ・健康被害を防止できる可能性があるから。
- ・国民の健康を維持する取り組みであるため。

③非喫煙者や周囲への配慮

- ・たばこは吸わない人にとってはとても迷惑だから・自分がよくてもタバコの煙がイヤな人もいるから。
- ・たばこが嫌いな人もいるから。
- ・タバコで嫌な思いをする人がなくなるといいと思うから。
- ・喫煙者は非喫煙者のことを意識して欲しいから。
- ・自分の好きな行為で他人に迷惑をかけたくない。

④たばこや煙に対する嫌悪感

- ・タバコの煙がとても嫌いなので。
- ・自分自身、たばこの煙が嫌いだし、実際に喉が痛くなったり気持ち悪くなるので。
- ・煙草の臭いや煙で楽しい食事を繰り上げたり、気持ち悪くなったことがあるから。
- ・ニオイが嫌いだし服につくのも嫌だから。
- ・タバコの匂いは不快で気持ち悪くなるのでこの取り組みはありがたい。

⑤その他の意見

- ・加熱式たばこは除外してほしい。
- ・医療費の国費が減る。
- ・パーフェクトは無理。
- ・煙草が害がある事を幼児教育をする事。
- ・厳格性、公平性に欠ける。

(2)都の受動喫煙防止条例を「良くない取組だと思う」「あまり良くない取組だと思う」と評価した回答者

(計 244 人。内、喫煙者 138 人、非喫煙者 106 人)

■良くない取組みだと思う理由としては、以下が多く挙げられた。

①喫煙者の権利も考慮すべき

(計 43 件。内、喫煙者 34 件、非喫煙者 9 件)

②喫煙できる場所が少なすぎる

(計 31 件。内、喫煙者 29 件、非喫煙者 2 件)

③厳しすぎる

(計 21 件。内、喫煙者 9 件、非喫煙者 12 件)

④取組に反対

(計 14 件。内、喫煙者 6 件、非喫煙者 8 件)

■以下にコメントを抜粋した。

①喫煙者の権利も考慮すべき

- ・喫煙者の権利の制限である。
- ・非喫煙者の権利ばかりを取り上げてマナーある喫煙者への配慮が無いこと。
- ・分煙はいいが、喫煙は手放しで悪だというイメージの植え付けが愛煙家の権利を著しく毀損している気がする。
- ・喫煙する権利とのバランスが必要。
- ・この取組によって喫煙者が必要以上に悪者にされている。タバコをたしなむのは悪と決めつけられている。

②喫煙できる場所が少なすぎる

- ・今現在タバコを販売している以上、喫煙可能の場所の確保も必要。
- ・禁止が多すぎるため吸える場所がなくなる
- ・喫煙場所の確保をしないままに禁煙を進め過ぎ。
- ・取り組みは良いとして、喫煙者の立場ももっと考えてほしい。喫煙スペースを増やしてほしい。
- ・一定数の喫煙者が喫煙するスペースを確保してから取組を推進するべき。

③厳しすぎる

- ・やりすぎ、分煙で十分。自分は非喫煙者だが、喫煙者の扱いがひどすぎる。
- ・規制しすぎ。非喫煙者だが居酒屋や喫茶店などではタバコは吸えて良いと思う。
- ・締め付けすぎ。
- ・やり過ぎな感じがする。
- ・分煙で十分だと思う。

④取組に反対

- ・国の規制以上の取り組みはやりすぎ。たばこ税をどう使うかも含めてもっと考えてほしい。
- ・都独自に過度に厳格な規制措置を講じるのは如何かと思う。
- ・エチケットの問題、法で裁く問題ではない。
- ・受動喫煙に関する健康被害が曖昧なまま法整備され条例があたかも法律や憲法より上位にあるように整備されていること。
- ・喫煙者の肩身が狭い。もう少し違うやり方があると思う。

⑤その他の意見

- ・もう少し分かりやすくしてほしい。
- ・タバコと加熱式タバコを一緒にするのはやめてほしい。
- ・禁止するのであればタバコ自体を違法にした方がよい。
- ・平等でいたい。
- ・エチケットの問題、法で裁く問題ではない。

Q21 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望【FA】

(Q21 『受動喫煙』を防止する施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。)

■意見・要望の上位 1 位・2 位として、以下のようなコメントが寄せられた。

◆罰則・取り締まりの強化

- ・もっと積極的に取り組んでほしい(違反者への罰則をもっと厳しくしてほしい)。
- ・過料の規定が形骸化しないよう、適応する場合はもっと徴収して欲しい。
- ・専従人員による摘発を行うとともに、処罰を厳格化してほしい。
- ・強い罰則と、取り締まりを強化してください。
- ・今後も防止策を積極的に進めてほしい。

◆路上喫煙・歩きタバコの取り締まり強化

- ・路上喫煙禁止や歩きタバコ禁止をもっと徹底させ罰則規定も作ってほしい。
- ・歩きタバコは厳罰にしてほしい。煙が後ろに来るので最悪です。
- ・路上喫煙をどうにかしてほしい。自販機周りや路地裏は喫煙所みたいになっている。
- ・歩きタバコの取り締まりの徹底をしてほしい。今は、ほとんどの人は歩きタバコをしないが、まれに誰も注意しないのをいいことにやっている人を見る。一般の人が注意することは難しいので繁華街などはパトロールなど作って欲しい。
- ・路上喫煙の取り締まりを強くしてほしい、特に公園でのポイ捨ては、子供が拾うので本当にやめてほしい。

■上記以外の意見・要望として、以下のようなコメントが寄せられた。

◆周知強化

- ・もっとわかりやすく、施策を行っていると教えてほしい。施策内容を知らない人もいる。
- ・テレビ、新聞、インターネットを使った周知徹底がよい。
- ・喫煙者にむけてのアピールをもっと強くすべき。
- ・しっかりと広報を「絶えずやり続ける」ことだと思います。

◆喫煙場所を作る・増やす(たばこ税も活用)

- ・禁煙エリアが増えているのは良いことですが、たばこが合法である限り、吸える場所の確保も必要だと思います。
- ・喫煙場所を減らすのではなくきちんと喫煙できる店や場所を増やすべき。喫煙者が悪者みたいで肩身が狭いし喫煙を楽しむ場所を減らされて悲しいしつまらない。
- ・喫煙可能なスペースを多めに設置し隔離できるようにしてほしい。
- ・喫煙を禁ずるのではなく、喫煙者が喫煙を気持ちよく楽しめる場所を要所要所設けてほしい。

◆より厳しい規則を

- ・喫煙場所をもっと厳しく制限して欲しい。
- ・店舗や会社のみならずマンションや家庭においても厳しい基準を設けてほしい。
- ・歩きタバコや屋外での喫煙も禁止にしてほしい。
- ・喫煙所以外での喫煙や歩きタバコやタバコのポイ捨てなどには罰金刑を更に重くするべきであると思う。

◆条例に賛成

- ・いいことなのでどんどん推進をして貰いたい。
- ・今のまましっかりと取り組んでほしい。
- ・タバコの煙を感じる事がほとんどなくなりました。
- ・今の施策をしっかりと実行する。

◆たばこの販売中止・価格値上げ・増税、自販機廃止

- ・タバコ販売禁止にしてほしい。
- ・煙草の価格をもっと高くすれば買う人が少なくなるので一番効率が良いと思います。
- ・たばこ税を更に値上げしてほしい。
- ・コンビニでのタバコ販売の禁止、自動販売機の禁止。タバコ販売は、許可制の専門販売店として、タバコが簡単に買えないようにしてほしい。

◆喫煙所の密閉性強化

- ・駅から近い歩道や、スーパーの脇道などに喫煙所があるのですが、一応仕切りはあるものの、煙がもれてだいぶ吸ってしまうので、もう少し密閉性を高めてほしいです。
- ・喫煙エリアは駅前の屋外にあることが多いが天井を囲むように部屋状態の形で提供してほしい。
- ・駅などに喫煙所があるが、屋根はなく、周りに近寄っただけで、たばこのにおいがプンプン。完全に、煙を除去する施設のついていない喫煙所は、撤去してほしい。
- ・私の利用します駅前に四方ガラス張りの喫煙所の建物ができました。広さも程よく皆さんそこでたばこを吸っていてこれはいいことだと感じました。

◆全面禁煙へ

- ・今後全面禁煙に移行して欲しい。
- ・都内でのタバコを全面禁止にすることを提案する。喫煙者のために特別な装置をお金をかけて作ることはない。
- ・タバコそのものを禁止にするくらいの気持ちがなくでは受動喫煙は防げないと思う。
- ・タバコを禁止にしてそもそも吸わせないようにしてほしい。

◆喫煙者の権利も考慮すべき

- ・喫煙者を追いやるばかりで、タバコを吸う自由が無い。高い税金を払っているのに、喫煙者のことも考えた施策にしてほしい。
- ・マナーを守らない人がいてルールが必要なことは分かるが、喫煙者を締め出すようなやり方には反対。
- ・喫煙する人に上手に対処することで違反する人がいなくなると思うのでそちらにも力を入れてほしい。
- ・喫煙者と非喫煙者の共存を考えてほしい。

<参考(調査票)>

必須	SC1	SA	あなたの性別をお答えください。 1 男性 2 女性
必須	SC2	短文FA	あなたの年齢をお答えください。□半角数字でご記入ください) 1 [FA]
必須	SC3	SA	お住まいの都道府県をお答えください。 1 東京 2 東京以外
必須	SC4	SA	お住まいの地域をお答えください。 1 区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区） 2 区南部（品川区、大田区） 3 区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区） 4 区西部（新宿区、中野区、杉並区） 5 区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区） 6 区東北部（荒川区、足立区、葛飾区） 7 区東部（墨田区、江東区、江戸川区） 8 西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町） 9 南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市） 10 北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市） 11 北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市） 12 北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市） 13 島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）
必須	SC5	SA	あなたの婚姻状況をお答えください。 1 未婚 2 既婚
必須	SC6	SA	あなたは、お子様がいらっしゃいますか。 1 いる 2 いない
必須	SC7	SA	あなたのご職業をお答えください。 1 会社員（事務系） 2 会社員（技術系） 3 会社員（その他） 4 経営者・役員 5 自営業 6 自由業 7 公務員 8 専業主婦（主夫） 9 パート・アルバイト 10 学生 11 その他：[FA] 12 無職

本調査

必須

- Q1 SA あなたは、「たばこ（加熱式たばこ※を除く。紙巻きたばこ、葉巻、水たばこ等）」を吸いますか。
 ※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。
 例：アイコス、グロー、プルーム・テック等
 （電子タバコは含みません）
- 1 毎日吸っている
 - 2 ときどき吸う日がある
 - 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
 - 4 吸わない

必須

- Q2 SA あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。
 ※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。
 例：アイコス、グロー、プルーム・テック等
 （電子タバコは含みません）
- 1 毎日吸っている
 - 2 ときどき吸う日がある
 - 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
 - 4 吸わない

必須

- Q3 ■ Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします ■
 あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

【質問アイテム】

- SA 1 たばこ 必須
 SA 2 加熱式たばこ 必須
 【選択肢】
 1 禁煙する予定がある (時期も決まっている)
 2 いつか禁煙するつもりがある (時期は決まっていない)
 3 禁煙するつもりはない

必須

- Q3-1 MA ■ Q3で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします ■
 禁煙しようと思う理由は何ですか。
 あてはまるものを全てお選びください。（複数回答可）
- 1 法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため
 - 2 自分の健康のため
 - 3 家族・パートナーの健康のため
 - 4 家族・パートナーにやめるように言われたため
 - 5 妊娠した・子どもが産まれる（産まれた）ため
 - 6 職場で禁煙を求められたため
 - 7 喫煙できる場所が減ったため
 - 8 たばこ代が高いため
 - 9 においが気になるため
 - 10 その他：[FA]

Q3-2

- MA ■ Q3で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします ■
 禁煙しようとする場合には、どのような方法で行いますか。
 あてはまるものを全てお選びください。（複数回答可）
 ※選択肢1「自分の意志のみで行う」は他の選択肢と同時に選択できません。
- 1 自分の意志のみで行う(排他)
 - 2 薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）
 - 3 飲食物で紛らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）
 - 4 禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）
 - 5 禁煙外来の受診
 - 6 禁煙アプリ
 - 7 その他：[FA]

必須	Q4	SA	<p>あなたは、受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。</p> <p>※「受動喫煙」とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。</p> <p>1 知っている 2 知らなかった</p>
必須	Q5	SA	<p>あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙※を経験しましたか。</p> <p>※「受動喫煙」とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。</p> <p>1 経験した 2 経験しなかった</p>
必須	Q6-1	SA	<p>(Q5 or 1)</p> <p>■ Q5で「経験した」と回答した方にお尋ねします ■ 受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。</p> <p>1 都内 2 都外</p>
必須	Q6-2	MA	<p>(Q5 or 1)</p> <p>■ Q5で「経験した」と回答した方にお尋ねします ■ どこで受動喫煙を経験しましたか。 (複数回答可)</p> <p>1 日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等） 2 夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等） 3 商業施設（百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等） 4 宿泊施設（ホテル・旅館等） 5 娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等） 6 駅・空港等 7 保育所・幼稚園・学校等 8 官公庁・病院等 9 職場 10 路上 11 その他：[FA]</p>
必須	Q7	SA	<p>あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。</p> <p>1 特に何とも思わない 2 できれば受けたくない 3 不快感を覚える 4 強い不快感を覚える 5 体調不良を生じるほど不快感を覚える 6 その他：[FA]</p>
必須	Q8	SA	<p>あなたは、「加熱式たばこ※」の受動喫煙リスクはどの程度あると思いますか。 お気持ちに近いものを1つお選びください。 ※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気加熱することで煙を発生させるもの。 加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。 例：アイコス、グロー、プルーム・テック等 (電子タバコは含みません)</p> <p>1 加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで周囲の人に受動喫煙リスクを与える 2 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙リスクが小さい 3 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙リスクがかなり小さい 4 加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙リスクがほぼ無い</p>
必須	Q9	SA	<p>あなたは、国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてどの程度知っていますか。</p> <p>1 内容までよく理解している 2 だいたい理解している 3 名前だけは知っている 4 名前を聞いたことがない・わからない</p>
必須	Q10	SA	<p>行政機関や病院などでは、屋内禁煙となったことを知っていますか。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>

必須 Q11	SA	<p>保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙（敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となったことを知っていますか。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>
必須 Q12	SA	<p>2020年4月1日から、飲食店は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となったことを知っていますか。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>
必須 Q13	SA	<p>2020年4月1日から、多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となったことを知っていますか。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>
必須 Q14	SA	<p>飲食店※を含む多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）で、喫煙室を設けた場合、標識の表示が義務化されたことを知っていますか。 ※飲食店の場合は、禁煙の場合も標識の表示が義務化されています。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>
必須 Q15	SA	<p>あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙かなどの表示を見たことがありますか。</p> <p>1 見たことがある 2 見たことはない</p>
必須 Q16	SA	<p>飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙かなどの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。</p> <p>1 必ず参考にする 2 どちらかといえば参考にする 3 どちらかといえば参考にしない 4 全く参考にしない</p>
必須 Q17	SA	<p>法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になることを知っていますか。 ※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。</p> <p>1 知っている 2 知らない</p>
必須 Q18	MA	<p>受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行っています。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。 （複数回答可）</p> <p>1 テレビ 2 新聞、雑誌 3 インターネット・SNS 4 ラジオ 5 電車内ビジョン・屋外ビジョン 6 東京都や区市町村の広報紙 7 チラシ 8 ポスター 9 動画（東京都作成の条例解説動画等） 10 家族・友人・知人などから聞いた（口コミ） 11 その他：[FA] 12 見たことがない・聞いたことがない(排他)</p>
必須 Q19	SA	<p>東京都の受動喫煙防止条例の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。 お気持ちに近いものを1つお選びください。 ※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じです。</p> <p>都の条例は、「人（従業員や20歳未満の子供）を守る」という観点から、 （1）従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙 （2）飲食店は禁煙の場合も店頭で標識を掲示 （3）小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可（努力義務） を、国の法律に加える形で規定しています。都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられます。</p> <p>1 良い取り組みだと思う 2 やや良い取り組みだと思う 3 あまり良くない取り組みだと思う 4 良くない取り組みだと思う</p>

任意
Q20

短文FA Q19で「{Q19 回答(文)}」とお答えの理由をご記入ください。

1 [FA]

任意
Q21

短文FA 『受動喫煙』を防止するための施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。

1 [FA]